

自由記述

男女共同参画社会

色々な理由で人口が少なくなっていく中、一番大切な事は人間は結婚し、子供を産んで育てていく事と思う。その為に仕事をし、楽しい家庭を作って行く事が幸福の原点だと思う。ただ、男女共働事については反対ではないが、その様に見える社会を作らなければ、色々な所に無理が生まれ、家庭崩壊や仕事のいきづまり等がおこり元もこもなくなってしまうので、まず体制作りが最前線だと思う。

男女共同参画はこれからの社会において必要だが、一世帯の所得向上なくして実現しない。

時代の流れによって、男女の意識の改善が必要だと思う。ただ、躍起になって頑張るのではなく、女性らしく、男性らしく、各々の良さを生かし自ら向上していければ良いなあ...と思う。

格差社会を改善しないかぎり、社会的に弱い立場にある人への攻撃が増え、男女共生社会の実現も難しくなるのではないかと思います。現在の政治状況が、その要因を作っていると考えます。

男性も女性も、それぞれ「男性であること」「女性であること」にうねほれたり、甘えたりしないことが大事と考える。そして、互いに思いやる気持ちを持つことが必要と考える。

これからの社会は男女共に充実感のある日々を過せると良いと思う。働きなければ女性もどんどん職場に進める社会、それを助ける制度の重実が必要。だからと云って無理に働らなくても本人が良ければ強要する事はない。社会の傾向に関係なく本人主義で良いと思う。それぞれの人生は本人が決める事。

男女は平等であるという基本理念を社会に浸透させる必要がある。ただし女性も男性と同じ仕事をしないと会社では認められない。同じ評価を望むなら同じ実績をあげれば良い。ただ出産に関しては男性は不可能なので、女性への配慮が必要となります。こういうアンケートが必要ない社会になって欲しいです。

結婚以来自営業ですので職場とは云え特殊だとは思いますが、客観的に見てその時代の風潮、家庭でのしつけ、(実家、嫁ぎ先)等は身につけている事、環境等で左右されます。男女平等-共同参画は小さい時から教育の場で又生活(学校教育の延長としての年代の人間関係の中での醸成、社会での醸成等あらゆる場面でコツコツと進んでいく気の永い努力だと思います。少しづつでも変わってゆかなければ日本にとっても国民の生活に於ても進歩はないと思います。真の民主主義は何かこれを機会に考え直してみたいとも思いました。寿命も長くなりつつある老いの生活の中でも男女共同参画の精神を忘れてないで居たいです。

男女の本質は変わらないので、平等は難しいと思います。男性は女性の大変さ、女性は男性の大変さ、お互い様を理解しないと難しい問題だと思います。男女の前に人間・人権を尊重し合わなければならないと思います。

男女共同参画の言葉が堅苦しい。親しみやすい言葉に！

若い世代が子育てを仕事と両立させるには、周囲の理解と協力も必要であるが、最優先されるのは、経済的な安定であると思う。男女共同参画を推進するのは良いが、それによる出生率が低下し、子供の数が減少すれば、将来的な社会構成が成り立たなくなる。

営利を目的とする企業、事業所程、男女参画に理解を得がたいと思う。人材は企業の宝であることを経営陣は、よく理解してほしい。特に中小企業主。特に、慣習で培われた潜在意識は、根深いものがある。男性は女性である母親から産まれてきたことを大いに意識し、女性は母性は愛であることを自覚し、自信をもって周囲に存在感を周知していくべきである。小児化を防ぐためにも日本という国が栄える為にも、身近なところから努力をしつづけていくことが大切であります。

経済優先、安保優先、弱者切捨ての政治情勢では、男女共同参画は口だけの大きなスローガンです。

共同参画にはその環境を整備し、職場の協力が必要。難しい問題が生れて来ますが、根気よく整備し、男女の活躍出来る職場環境作りが最優先と思います。皆様のご活躍を期待致しております。

男女共同参画では女性の社会進出や女性の役職・出世の話が多く出ますがもう少し男性側の立場も取り入れていただくとも男性も頭に入り安い話し合いが出来ると思います。

女性が活躍する、という言葉に違和感を抱えます。男女問わず全ての人が最良の人生を、社会生活を過ごせる世の中になることを期待します。

男女の身体の違い(女性は、子供を産む)があるのに、それを考慮しないで、何もかも“男女平等”には無理がある。私は明治生れの祖母に育てられました。“男尊女卑”これが良いとは思いませんが、今でもどこかでこの思いはあります。片寄った回答になり申し訳ないと感しております。

男女共同参画の必要性をもっと判り易く、強くアピールする事が必要かと。「目的」を明らかにしてその手段の一つが「男女共同参画」と継ると良いのかなと思います。

今なお女性の地位が低い様に思います。女性は仕事を持っていようと専業主婦であろうと関係なく、家事、育事をするのが当然の社会。“女性のくせに”という男性からの言葉。私は若い頃から男女平等を望んでいました。しかし、昔からあまり変わっておりません。本当の意味で平等になることを望んでいます。男はそんなにえらいのか!という感じです。女がいなければ男は生きて行けないのに...。女性は1人でも(1人の方が)生きていけるけれど。

日本の企業の社員管理において、まだまだ男女共同参画に支障をきたす、考え方や風土が残っていると思います。将来の社会情勢が見通せなくなった現在において、企業は利益の確保を図ることから、男女共同参画の社会の実現は困難と考えます。

本アンケート送付いただきありがとうございました。常々考えていたことを再認識できました。社会に出て40年、結婚して27年になりますが、その当時に比べ、男女のいろんな点での格差は縮まっていると思います。職場でも女性の活躍を進める諸政策がすすめられてきました。今後も女性の力を活かしていくことは大切なものと考えます。共同参画についての諸施策をよろしく願います。

時代は変わり、女性の高学歴などから就業の機会が増えている。妊娠や出産後に就業したくても社会的理解がなくてとも苦勞することがある。ワークライフマネジメントという言葉も聞いて県で実施しているらしいが、職員間で普段から交流があって職場の雰囲気良ければ理解を得て、急な欠勤や退勤に対応できると思う。「男女共同参画」という言葉ばかり先走っているが、そもそも会社で職場で1人1人が生活にあった働きやすい職場であれば復帰や産後の就業に影響はない。県として企業にそういったことを指導することはできないのか?

労働や地域活動において、男女共同参画がすすむ為には、社会制度の改善はもちろん必要。でも何より女性自身の意識(人権感覚)を高めるのが、急がれるのでは。最近の若者世代は、家事・育児への性別役割感がずいぶんフリーになってきていると思います。教育の場での成果なのでしょうね。

男女共同参画社会

制度の充実はもちろん必要だと思うが、どんなに制度を充実させても実際の職場環境や家族・周囲の人の意識改革をしなければ何も変わっていかないと思います。女性の社会進出、男性の家事・育児参加等に対する社会全体の意識変容が必要だと思います。また、男女共同参画に対する教育（子どもへの）も重要ですが、個人的に男尊女卑の考え方は高齢者に多い印象があり、その子ども世代が現在の職場での管理職についていることも、女性の働きにくさ、男性の家事・育児参加のしにくさにつながるのではないかと思います。なので、管理職世代への意識改革・教育も必要と考えます。

このアンケートに答えようとする事で、自分なりにいろいろと考えさせられるな...と思いました。「男女共同参画」という言葉が指し示そうとしていることは、人それぞれだと思えます。肉体的特徴としては、男性、女性と分けられますし、それぞれの特性もあると思えます。それを超えて、人としてどうしていくことが“いのち”にとって正しいことなのだろう？と答えがない中で“問い”を持つ方々が増えればいいなと思いました。様々なハラメントと呼ばれるものは、常識や思い込み、刷り込みといったものから生まれている様に思う私がいいます。特に「男は仕事、お金をかせいで家族を養うもの」「仕事は頑張ってガマンして得られるもの」「女の幸せは子供を産んでこそ」などなど 私自身もそう思い働いてきました。男性、女性が区別なく、共に自分のいのちも相手のいのちも大切にしていこうと思う時、自然と共に生きる、共にアルことを感じていく方向にいくのではないのでしょうか？誰もが本来は願望している“共にアル”という安心した関係。それを邪魔しているのは、本人も気づいていない、“刷り込み、言葉”だと私自身は実体験から思えます。これを企画された皆様、アンケートをつくるのもエネルギー 時間等たくさん注がれている事と思えます。自分自身を見つめるきっかけともなりました。ありがとうございます。県が「在り方」を“問い”にし続け変化し続けていく事は、多くの三重県民に希望を感じてもらえる事と思えます。

町内では女性の方もボランティア活動のリーダーとして活躍して見える方が数人みえます。男女関係なく、希望する仕事、活動ができる社会は理想ですが、10年前とくらべて全体に前進したと思えます。男女とも個人の意識の違いはとてむづかしいと思えます。支援制度も必要ですが、相手の立場にたって考えてみるのが一番これからも大切ではないでしょうか。

男性女性という区別なく個人の特性を活かすことができる地域・社会であって欲しいと思えます。育児中の人について、周囲のフォローは当然必要ですし、フォローしやすい制度、環境を整えることはもちろんですが、当事者も時短等通常時と違った状況での勤務体系であったとしても、責任を持って自分の職務に取り組むという自覚も必要だと思います。

一口に、男女共同参画といっても、夫婦が安心して働ける環境があれば最高だと思います。子育て、介護いりんな苦境があります。保育所、老人介護施設の完備、産休を制度化させる。上場企業で1人目を出産後、2人目を授かった。その報告をしたらいやな顔をされたと聞いた事があります。今の時代、少子高齢化に貢献してくれて有難う。なんでも会社側の立場になると人手不足、あてにならないという事になるのでしょうか。高学歴、有能な女性もたくさんみえます。一生独身で働くわといわれても将来の日本を考えると結婚して子供もたくさん産んでもらいたく思えます。

男女平等の社会は、家庭、地域で築いて行くものだと思う。退職しているシルバー世代の人にも協力してもらっては？

10年前にも今回と同じく市より男女共同参画のアンケートが来ました。その当時の設問は、質問の中に共同参画のあるべき姿と言いましょうか、答えが暗に用意されていて、答えのための質問内容でした。質問は男性は悪で女性は被害者であるかのような内容でした。今回のアンケートは男女平等に取り扱っており、集計後には十分活用出来るように思います。最後にお願ひがあります。共同参画というのは各家庭多様ですが、互いの気持ちを思いやり、子供達から見た母親像、父親像がしっかりした男女共同参画になる様望みます。「男らしい」とか「女々しい」とかの男女が出て来る言葉があります。これを共同参画はパッシングしますか？この言葉の中には「頑張り」という事が隠れている様に思えます。「男らしく頑張りなさい」「女々しい事言わんと頑張りなさい」日本語はすばらしいんじゃないですか、言葉尻だけの男女共同参画にならない事を望みます。

男女と区別するのではなく能力、やる気を公平に活かす社会制度。

家庭や職場、地域社会における男女の役割分担

平成4年に長女を出産しましたが、周りから「私は休まなかった」など同じ女性の言葉が多く、上司（男性）は口にはしないが「休むなんて」で、育休がとれず「休むならとばすぞ」とも言われました。次に平成12年、16年に同じ会社（正社員で）3人産みましたが...年々、会社が「休ませない」というかんじでしたが、やはり本心は？というかんじでした。やはり、職場にはすごく迷惑かけていると私自身思いながら3人目で初めて育休とりました。

職場の全員の理解不足 全体として協力する。

そもそも職場全体に人手不足等問題も多々あるからか、特に管理職他正社員にも気持ちの余裕の無さ、問題意識の低さ 事なかれ主義、余計な事は見ぬふり...とか、そんな事を良く感じます。一人ひとりへのていねいな指導、話しかけ等確かに大変で荷が重いでしょうが、とにかく、一人ひとりの余裕のなさが、結果職場の意識改革、個々の問題の解決等につながっていかないかと日々感じています。人が変わらなければ、何も変わっていかないでしょう。

保育園や小学校の保護者役員決めは母親が出ることが前提で、学校側も動いているように思う。父親も母親が出ることにより前の意識しかなく同じ保護者なのに学校行事に関しては母親ばかりとってしまう。父親の意識改革が必要だと思います。

男性社員が妻と子供を育てる上で、一定の期間だけでも子供の成長を見守るのは、新しく親になる人にとってかけがえのない空間です。一週間位でも、新米パパには、必要かと思います。

まだまだ衆知不足だと思う。当事者以外はあまり深く考えていないと思う。一度家庭に入るとまわりの環境、自分自身の自信もなくなり難しくなる。昔ながらの結婚すれば女性が家庭に入る、女性側が男性側に嫁ぐ考え方が根強よいと思います。

男側からすれば家事などは「してやった!!」と思う。女側は「して(手伝って)当たり前」と思う。協力しあうの言葉でも、考え方の違いが出ている。給料をもらう以上仕事優先は当たり前。お互いができる範囲で協力しないといけない。平等ばかり言いつぎると結婚も子供を産むのも遠くなるかも。

男性らしい仕事、女性らしい仕事があると思います。そういった仕事についてもっと議論されてもいいのではないのでしょうか。

男女お互いに協力して理解してゆく事が大切だと思います。

男も育児を積極的にするべきだと思う。

女性が仕事・男性が家事という社会も悪くないかな。

簡単にまとめれば、女性は家庭を守り子育てをしっかりとする。女性は家事・子育てをしている(家庭で働いている)のだから、給料を支払う。女性で男性と肩をならべて働いて地位を得たいなら独身で働いたほうがよい。(一生懸命仕事ができる会社も(+)になる)子育てしながらでは子供が病気だ。保育所に迎えるという問題があり、社会に出て一生懸命仕事ができないと思う。(男性からきられるのでは) 地域に於いても男女の差別があり、女性を軽く見ている。発言しても取りあげない、パカにしている傾向がある。男性しかできないことを女性がすると又、発言すると後でいじめられる(女のくせにと)

私の家庭では、夫も妻も対等に話し合い、お互いを理解しようと常につとめています。お互いの仕事はお互いが相談ののったり、フォローしたりしています。身近な自治会では自治会長に女性を選ぼうという気運がぜんぜんありません。自治会は男が出ていくものだという考えがずっと続いているようです。能力があって、自治会に新風を吹きこむような女性が身近にいたら、この人に投票してみたいという心のひろい?男性が育ってほしいと願っています。

私の年代からの経験ですと社会はもちろんです、まず個々の家庭内で男性が育事、家事分担をするべき。(今の若い人はかなり意識が高い様ですね)あと保育所の充実。女性ばかり負担がふえてはアホらしくて働く気もありませんからね...。男性の協力求めます。もう少し協力してくれたら仕事を続けられたのに。でも、結果として子育てに向きあえて、子どもはうまく成長してくれたので満足ですが...

年輩の中には、まだまだ「女は家事・育児」...という考え方が根づよく残っていることを、最近も痛感したところである。(「食事、作っていない、ここ最近...」という話を職場でしたところ、「ダンナさんがかわいそう」といわれた。)学校教育の中で、幼ないうちから意識改革をすすめていくことが必要だと感じる。育児も家事も互いに協力しながらすることや家庭の外ではいけないことは家庭内でもしてはダメなこと(DVなど)は、社会全体の啓発活動ももっと必要である。

男性ももっと育児に参加していくべきだと思う。育児休暇は必ずしも女性がとるとは限らなくてもいいと思う。男性が育児に関わる事への会社側の理解が足りていない。もっと、育児休暇等に対する会社側の意識を深めるような機会があればいいと思う。

女性も男性も職場での理解を今以上に磨くようにみんなで、コミュニケーションをとり合い円滑に生活できるよう、すべてに改善されることを望みます。

地域や家庭においても職場においてもあらゆる場面で男女の割り合いを同じ位にして男性からも女性からも平等にバランスを大切にしたいと思っています。過剰に女性を起用とかそういう事ではなくそうやっていく事で男女平等の社会になっていったら良いと思っています。

今、育児をしている世代での男性の家事や育児への参加は進んでいるように思います。しかし、その人達の親や祖父母世代では、「子どもが小さいうちは母親と一緒にないとかわいそう」という考えが残っているように思います。私も、出産後の職場復帰を望んでいましたが、家族の理解が得られず退職しました。

女性の社会での活躍についてですが、男性だから、女性だからでリーダーを選ぶのではなく、個人としてすぐれている、信頼できるという見方ができるようになれば良いと思います。

平日の小児科で、幼稚園でのお迎えで、スーツを着たお父さんを見かけることがあります。理解のある職場もあるんだと思います。

私は、この3月末で退職するまで10年余管理者として仕事をしてきました。退職の一因として職場における業務量の増大とそれに伴う長時間労働(土・日出勤も含む)があります。管理者であれば当然の事もわかりませんが、女性である私は家に帰って夕食の準備から掃除・洗たく等、家事はほとんどやってきました。家庭内での家事分担ができていなかった事もあります。夫も朝早く出勤し帰宅は夜遅くなってからという状況のため、やむを得なかったと思います。社会全体が労働時間の短縮等、家庭で過せる時間を増やす努力をしなければ難しい事だと思います。ドイツ等ヨーロッパでは短時間労働で効率良い働き方をしている国もあると聞きます。社会全体の意識の変革が必要ではないでしょうか。

家庭や職場、地域社会における男女の役割分担

男女共同社会は女性には不利だと思う。男は仕事女は家庭。男女共同参画は子どもが犠牲になっている。いつの時代でも家庭が1番。父は仕事母は家を守る家は社会を守る。

年寄りが減ったらまた状況は変わると思うが、若い人でも専業主婦願望が強かったり、結婚=退職と考えている人は多いので、男女共同参画の実現にはまだかなり時間がかかると思う。わが家の夫も典型的な亭主閑白だったが、私の病気で劇的に変わった。結局は本人次第。若い子たちへの教育に期待します。

このアンケートにすらすら回答出来ず、「男女共同参画」について日常如何にぼんやりと、意識せず過ごしているのだろう、と思いました。我家が小さな家族経営の職場なので、男女の「役割分担」がハッキリしていても不公平を余り感じず共同生活しているという実感がある。勤めていたら、賃金・時間等々の問題にもっと鋭く向き合っているのでしょうか。共同参画の仕方は各々の家庭で納得してやっていったら良いと思うのですが、働き過ぎを防ぐ制度、保育介護サービスの充実、学校教育（今は高校の調理実習も男女一緒に、とか。感心しきりです）がとても大切だと思います。

基本的には男女平等でなければいけないと思う。ですが、女には女の、男には男の、それぞれに役目役割があると思う。ですから子供に在る家庭などでは女性の母性をたっぷり注ぎ子供が大きくなるまで家庭という職場でその能力を発揮すると良いと思う。

マトニティハラスメントやパタニティハラスメントを語る以前に、日本の将来の少子化の問題が根本にある。どうしたら地域・会社などで、女性が子供を産めるか安心して育てられるかが問題意識を、もっと日本の社会全体に共有すべきだ。今のままでは、日本は近い将来労働力不足などの問題が発生し、産業の空洞化、人手不足の黒字倒産など現実となる日がやがてやってくるだろう。女性は家庭に居て、子供を産み育てるという側面があるということも古い考え方もかもしれないが、普遍的事実として存在することを見直すべきだ。適齢期に結婚し、出産することの重要性を意識改革すべきだ。女性の社会進出も結構だが、そのことによって日本社会の沈没となつてはまったくナンセンスだ。

問31で書いたが男が働き女は家を守るというのが家庭の理想と思える。しかし経済環境がそれを許さなかったり、女性自身が社会で力を発揮したいと望んだ時などはそれも許容できる社会になる必要があると思う。

女性はリーダーに不向きな人も多いですし、無理矢理女性の管理職を増やす必要はないように思えます。それよりも、既婚の男性がもっとお給料を頂ける環境をつくっていった方が良いでしょう。ただ、働いているのが、女性の場合（既婚で）その人が家族をやしなえるだけの給料ももらえるべきだとも思います。

女性は、男女参画、職場の活躍は必要ないと思います。（特別な人は必要です）仕事している時も男性とは違って30%は家のこと子供のことを考えていますよ。一度仕事をやめて子育てを頑張るべきです。他人にまかせず、甘い考えでは子供はうまく育たない。次に仕事するときは、準社員、パートなど立派な仕事がまっています。お金-お金-お金そんなに仕事したい人は両親と住むとよいです。いい子になりますヨ。仕事は若い人たち、正社員を希望している人がいっぱいいます。パトタッチをして、つましく子育てして、良い世の中になりますよう願っています。

まだまだ男性優位な社会なので女性の参画と共に社会を変えていく努力が必要。の方が望ましい職場もあるでしょうが、意外と可能というより向いているものもあるかもしれない。産休・育休制度の利用率を上げて、誰でも利用しやすくなる様にすることが大切。“お互い様”の気持ちでゆとりをもってフォローしてあげる“心”が大事だと思います。能力ある女性はもっと社会に出て活躍すべきだと思っています。家庭、地域、社会全体でバックアップできる様な改革も必要ではないでしょうか？一部の人だけが利用できる体制ではないので“平等な立場”で利用できる。そんな社会をめざして尚一層“ケイハツ”に努力されたいと思います。回答用紙1枚別に添付していただいた方が送料などもムダにならなかったのでは？税金でまかなっているので一応念のために書き添えておきます。（ネット配信でもよかったかもネ！）乱筆お許し下さい。宜しく願います。

男女共同参画は現在必要とはあまり思わない。女性が家庭を守らない社会になってきたので、事件等多いように思われる。簡単に離婚する世の中になっているので、今考え方を大切にする必要があると思います。男女共同参画に関する意識調査に協力できません。私個人の考えですので、お許し下さい。

有史以来男女の役割、また生物学的な観点からも役割を分担し子孫を残している。マクロ経済における男女の役割の平等性を問っているのが、本当に良いのか疑問です。

子育て・介護の環境、支援制度

<p>パタニティ制度の職場が少ない。中小企業は特に。</p> <p>『育児休暇』や『出産準備期間における有給休暇』が認められれば、夫婦間の出産・育児問題も、大きく前進するようになると思います。母胎に赤ちゃんが出来た時点で、その子はもう生きているのです。その『初期』が最も大切なのではないのでしょうか。日頃の私生活は、そんなに忙しくなくても、目の前に赤ちゃんがいないと、男は育児を意識しないと思います。出産迄の10ヶ月でも、数日有給休暇があると、男の意識も高まるのではないのでしょうか。</p> <p>娘の職場復帰に保育所の確保に困った。職場復帰はしたが2人目の妊娠は高齢出産？35才で一人目 2人目職場の事を思うと無理。</p> <p>休暇や短時間勤務を職場で利用する・されるのは個人的にはOKです。ただ業種・従業員数・担当の部署・時期によっては休んだ人の代役を探す・納期にまにあうよう休日ノ交替勤務などを増やす等の対応が必要になると思われます。そうなる中残業が続いてキツイ・私だって家事がいそがしい等の不満が広がって雰囲気が悪くなる・ボカミスで不良品の処理に追われたりといった悪影響が出そうです。(一部製造業での実体験) 利用する・される人の不安や負担を減らすには、職場にあった仕組みを作る・それを作る専門家の人が必要ではと思います。</p> <p>大手企業と、中小企業の制度のあり方が違いすぎる中小企業では、経営状況に於いてそこまで余裕はないと思う。</p> <p>妊娠・出産、育児により業務を軽減してもらえて得をしていると考えるのは、男性よりむしろ女性の方が多い。独身女性は、自分が経験するまで、その大変さがわからない。男性の方がむしろ気遣ってくれる。</p> <p>育児中の女性の中には、わざと待機児童に認定してもらえないように保育園の申し込みを一歳の誕生日ギリギリに申し込み、待機児童に認定されたら1才半まで育休手当をもらう人もいます。税金のムダづかい。そんなことをするから、独身女性に得をしていると思われるのだ。</p> <p>育児休暇の延長や育休明けの就業時間の短縮等若い方が出産後も働きやすい制度が改善されるとよいのではないかとと思う。</p> <p>桑名市の公報(?)で育児休暇をとってみえる記事があり、そんな時代になってきたのか...とっていました。その休暇をとっても差別がないよう願っています。若い方の収入が少ない方が多いとか、収入があれば母親が子育てできる環境になるのではと心の中では少し思っています。</p> <p>会社の制度がしっかりしていれば利用する人が増え、当り前の様になるのではないのでしょうか?大企業じゃないとなかなか難しいと思います。</p> <p>育児に対する職場の支援制度を充実させ、休暇等(育児休業含む)の際に人的な補充を行い、外の職員への負担の増加がないように、することが重要。</p> <p>出産後も安心して働けるように保育所を増やしてやってほしい。</p> <p>マタニティ休暇、パタニティ休暇自体大手企業にしかないものであって、中小企業には、生理休暇も取れる会社はまだ少ないと思います。</p> <p>大企業や特に公務員は、いろんな面で制度が充実(優遇)しているが、中小企業では、理解しがたい。</p> <p>産休・育休制度がない会社が多い。私の職場は、きちんとしているが、友達や、まわりの人達は、妊娠をしたら会社を辞める人が多かった。どんな小さな会社でも、そのような制度をきちんと取得させてあげて欲しいと思います。</p> <p>定年退職前の職場(大企業)では女性の職場への理解が高く、マタハラ、パタハラについては、ほとんどなかった。しかし、一般の会社ではまだまだ考え方や制度に差があるように感じる。社会全体の考え方や制度の充実に向けて、改善を図ることを根気よく進めていく方法しかない。</p> <p>もうすぐ介護される立場なので施設の充実を。</p> <p>中小企業以下の会社は産休、育休をとらず余裕がない。経営的には仕方ないと思う。</p> <p>保育園の入園に関して、仕事が決まらなくて入りにくいが、保育園入園が決まらない状況での就職活動は困難。結局社会に出にくい。</p> <p>保育所に入っている場合、母親が産休に入ると、保育所を退所しなければいけない。子供の精神的な負担となる。(なぜ急に保育所に行けないのか、友達と一緒に遊べないのか理解できなかった為)再度、育休あけに保育所に入ろうと思うと、4月でないとも月齢の低い子は入れないと市の担当者に言われ、それに合わせて早期に休暇を切りあげなければいけない。本当に困っている事は、その立場の人しか分からない事も多い。表面的な考え、対策では、意味がない。</p> <p>小学校に上がると長時間あずかってもらえる学童施設がない。夫婦とも正社員であれば当然支障が出てきます。子を持ち共働きをしている家庭ではずっと以前から大きな問題であるのに、解決されません。というか学童補助もカットしようとしていました。小学1年生を1人で19時や20時まで家におらせることはできません。問題を解決しようとするか、ハード面整備が無理であれば、もう解決をあきらめていただきたいです。</p> <p>男女共に産休育休が取りやすくなればよいと思います。休んでいる時の収入が確保されるといいです。</p> <p>女性が正社員で働いていると、子供が塾を出したからといってすぐには行けないし、休めない。男性ならなおさら仕事をおいて子供の事では休めないと思う。国、県などが子供と取る有給制度(年5日間)など確実に使用できる制度などあれば共働きの家族も働きやすくなるのではないかとと思う。</p> <p>保育所では軽い風邪や治りかけの時でも預かってもらえないので、病児保育があると助かります。鈴鹿市では土曜保育が午前だけなのも困る。平日と同じ時間で預かってほしいです。</p> <p>まだ社会的には、男性が育児休業など取るスタンスが少なく、周辺もほとんどいない為、企業や社会的にそのような体製が取れる制度に変える必要性が有ると思う。</p> <p>女性は出産、育児・介護の他に、更年期のホルモンバランスの体調不良で仕事ができにくくなる方が多数みえます。そういった時の療養休暇が時間短縮等の制度があればいつも思っています。</p>
--

子育て・介護の環境、支援制度

<p>志摩市の場合、育児休暇中は延長保育（4時以後の保育）が認められていません。第二子出産の時、0才児をかかえ、（抱いて）4時までに3才児を迎えに行き、その後、母が一人で、夫が帰るまでの時間の子守が大変です。休暇中とは言え、第1子の延長保育は認めてほしく思います。（守りの手伝いをしている祖母の意見です。首のすわらない子を私が預り協力しましたが、今まで延長保育で友達と遊んで喜んでいた児が、4時に帰ると帰宅後、0才の守に必至の母にもかまってもらえず、ストレスがたまったようです）育児休暇中とは言え、0才児を除く上の子供は延長保育してほしく思います。</p>
<p>どんなことでも、その環境で活動する人々に余裕が必要だと思う。女性も男性も産休や育休などをどんどん使うべきだけど、特に男性の場合は使いづらいと思う。育休をとれそうな余裕があれば使う人はいるだろうし、それが当たり前になってくるともっともって増えてハラスメントはなくなると思う。だから休める余裕が必要。きっと一人一人の仕事が多く、働きすぎているのがいけない。しょうがないけど、とても難しいことではあります。男性の育休がとりやすい状況になるといいなと思います。私の住んでいる川越町は保育施設がとても充実しています。逆に、となりの四日市市では保育園に入れるのが、とても難しいそうです。引越すことあると思うので、保育の充実を進めてほしいと思います。でないと思いません。産休・育休をとるにあたってそれをしっかりフォローできる制度、しくみがとても大切だと思う。また、それが男女共同参加にもかかわってくる。</p>
<p>働きたくても、小さい子供を預ける所がない。保育施設の整備、確保を早急にしてもらいたい。産前色々な事情で上の子供を預かってもらいたい時に、一時預かりができなかったりしたので、子供を安心して産み育てられる社会になってほしい。</p>
<p>夫婦共に働いている我が家ですが、二人とも管理職になっており、子供は男三人で中学、小学、保育園に通っています。両方の会社とも言えるのは、管理職だから長時間働く事が日常です。社会全体が、残業問題や子育ての家庭へのフォローが必要では、と思います。</p>
<p>まだ子供はいませんが、産れたあとを考えると不安がいっぱいです。職場が遠いため（車で1時間半）、家の近くで保育所にあずけた場合、すぐにむかえに行けない。会社の近くの保育所にあずけた場合、長時間運転が危険。会社にたく児所あればよい。家で仕事できるように週何日とか短時間勤務時のフレックスタイムの応用。保育所の数、費用。朝早くからあずける場合、延長保育を無料にしてほしい。育児中の補助金。夫の給料だけでやってけるのか。夫婦で参画できる、育児セミナーや体験型など。家の周りにキレイな公園や大きな公園がない。細い道が多いのに、明かりが少なく危険、怖い。</p>
<p>小学校の低学年（1～3）を預かってくれる支援センターがあり、かなり充実しています。イジメっこがいたりして、こなくなる子もいるようで、職員も苦労されているようです。なにしろ総クレーマー社会ですから。預けられた子供たちもかわいそうではありますが、基本19時か20時まで「保育所後」「放課後」のケアをしてもらえたらもっと有能な女性の活躍の場が増えるのではないかと思います。また、たいへん申し訳ありませんが、NPOというものの信頼度は10目盛として3以下まで低下しています。やはり県として取組をお願いしたいです。</p>
<p>社員として働いている若いお母さん達は子供を保育園に預けて大変だと思う。祖母の立場としていつも保育園にお迎えにだけ行っているのですが、母親がいつも帰りが遅く大変そうです。子供が小さい間は、早く帰れる様な制度でもないのかといつも思っています。パートならいいのですがやはり家庭の事情でそうもいかないようです。</p>
<p>職種によっては、女性の育休、産休明けの仕事の内容や立場が異なっていたり、まだまだ育児や介護、看護休暇が取りにくい状況がある様に思います。少子化対策の一環としてでも、もっともっと結婚や出産、子育てを応援する。そして、それぞれの休暇が取得しやすくなる社会や企業の理解を求めます。特に、少し古い考えを持っている年配の方をお願いしたいです。頭の切り換えも大切ではないでしょうか。特に、共働きが必要な今の世の中の現状では！！</p>
<p>正規社員で働いていた友人（津市内）が産育休を取得後、復帰しようとしたが、保育園の空きがなく、やむなく退職せざるを得なかった。女性が働く為の環境整備が整っていないと感じる。職場において女性が活躍するために（というより、男性も女性も性別にかかわらず）保育・介護などの充実が必要不可欠である。地域や家庭においてはまだまだ女性が卑下されている風潮がある。地域の寄合に女性が出るという言い回しや、幼稚園でなく保育園に預けているとかわいそうな子と言われたり…。職場では、法的なものが整ってきて改善されつつあるが、地域では根強いものがあると感じるので、社会の意識改革にもさらに力を注いでほしいし、自分も発信し行動できる人でありたい。</p>
<p>女性はパートでさえも休みにくい環境です。子供の授業参観の参加者のほとんどは女性であることは、いつも不思議に思います。我が家では主人は名古屋につとめていて、私は市内でパートをしています。パートでさえも、授業参観の為に休みすらもらいづらい環境です。PTAの仕事も女性が多くて不思議です。学童保育も、利用させて頂いておりますが、利用料も高額で、夏休みは、お盆期間は学童もお休みで職場にたのんで休みをもらうか、子供を一人で、るす番させるしかありません。もっと働きやすい環境がほしいです。</p>
<p>保育に介護いろいろ条件つけずにみんな（誰でも）施設を利用できれば良いと思う。国とか県で考えてほしい。そのために税金が高くなって仕方がない。</p>
<p>女性が社会に出て活躍するためには、出産してから、保育園、学童保育子供の病気の時のフォローが完備していれば、安心して働けると思う。定年後、家でテレビをみる機会が多いが、専業主婦が如何に家事、育児に四六時中大変だと強調しているが、共働きの女性は短い時間で家事、育児に手抜きせずに一生懸命やっている事を知らせてほしい。働いている主婦はランチ・カフェに行くひまもないんです。一人親（男性も女性も）が増えているが、この人達をもっとフォローしてほしい。小中高の学校の入学式、卒業式など人生の大切な行事にその他学校行事に教職員は我が子の行事に出席しづらいと思います。（全市同じ日だから）これは何かしら配慮していただいているのでしょうか？</p>
<p>私の在籍の会社では、当初より女性パートアルバイトさんから正社員となっています。また、産休復活もあり、女性中心の会社と言えます。社会的にも貢献できることをこれからも広げてほしい。これから一番の課題はやはり介護のこと。大変な時代がくると思います。</p>

子育て・介護の環境、支援制度

女性が出産して子孫を増やしていく事が人として当然とするなら、生まれてきた子が人として成長するまで見守っていただける社会や周りの人が当然必要です。昔はお母さんが家に居たり、祖母が居たり隣りのオバチャンが居た。今はお母さんは経財が不安定だから働きに出なくてはいけないのに、子供が人として成長するまでの間、教える場はあっても守る場が無いですね。お母さんとお父さんしか居ないのです。母親が子供を保育園に預けて、迎えに行き、食事の買出しをして夕食を作り、子供の世話をし、その後父親が帰宅する。これでは女性のリスクが多すぎますね。父親の企業に宅児施設があれば、パワハラなどと言われなくても子供を迎えに行きますと云えばいいでしょうし、安定した育児期間が自然に出来上がるのではないのでしょうか。学校に上がってからは国や県が学童保育を充実させて、母子共守られる環境作りを続けていけば、自ずと女性の社会への参加も自然に増えて、能力の高い女性の社会貢献度も上がるものと考えます。(同僚で、2才7才10才の子供がいる30代の女性は、祖母が亡くなってから子供が発熱すると保育園から呼び出されて、子供が帰ってくるので仕事を急によく休みます。インフルエンザも3人が順にうつるのでずっと休みます。仕事に穴があき、お客様に失礼 お客様が来なくなると収入が減ります。皆から陰でやめてほしいと言われています。病気の時こそ、だれか見守ってほしいのではないのでしょうか？(看護士さんとか)母親が働く環境は全く整っていない社会からのパワハラのような感じがします。私の場合はギリギリやっていた収入が去にあったので子が中学生になるまで在宅していました。第一子の場合は職場の理解はあると聞きますが、第二子になると難しいのではと考えます。

結局は、女性の再就職が難しい事が原因。今までもそうだったからこそ、男性の育休もとりづらい。とりたくても、とれない。会社自体に育休という考えや政度がなすすぎる。余計に女性の再就職がしにくい。今、我が家でも私(妻)の仕事の復帰のことで色々悩んでいます。

働くことは楽しいですが、子供のことを考えるとフルは難しいです。世間もぶっそうになり子供の送迎や細かいことに手をとられます。父親は仕事であってならず、やはり母が動くことが多いです。

幼児がいるが、病気になった時など預けられる場所が無く職場に迷惑をかけてしまう事を考えると、今働きに行く気にならない。又、夫の労働時間が長く、働きに出る事でストレスが増えてしまっても、夫の協力(家事、育児)は今以上には求められない。親が要介助になり、家族に手助け出来るポジションの人がいる事で他の家族も安心するので、お金にはならないが今のポジションで満足している。ただし、同じような立場の人でも、仕事をしている女性はサポートを必要としているし、ほとんどの人にとってはまらない。この先要介護の家族ができれば、働きたいと思っても働けないと感じている。女性が働きやすい環境が整う前から、働かなければならない制度ばかりが増えていきそうな事が不満。

妻が働こうと思うと夫の協力が必要であり、特に子供がいる場合はそうである。社会では働いている所のtopは男性の育児休業や参加をするように進めたり、うちの所では「男性が育児休業や参加をしている」とアピールするのはtopだけがアピールして実際にやってみせが、下に行けばいくほど現実的に仕事を調整して育児休業をとるのは難しく、まだまだtopのアピールだけにすぎない!!今の社会をみていると、もっとすみずみまでいき届くようにしてほしいと思う。topの者がすみずみの仕事を体験すれば実態がわかると思う。topが休業すると他がかなりフォローするが、下の者の業務は休めば仕事がたまっていくというのが現状だと思う。

私自身が産んだ頃から考えると全ての職業の方が育休をとれる制度があり、最長お子様が3才になるまで育休を利用出来る事も大きい進歩です。ただ実際にそれを勤務先が認めているか否かは別問題ですね。幸い、私の職場は、時短勤務など積極的に女性の力になれるよう相談と実施をしています。しかしながら、男性が育児や介護の為に時短や休みをとる事は、増えていません。50代の私には、今、介護の問題があります。主人も自分も長年勤めていますので、息子が母親(息子の祖母)の世話をしてくれています。その為仕事に就く事が出来ません。子供にも入院生活・療養生活を長く送っている者がおり、経済的に、仕事に行かないと治療費も必要だし、仕事に行っているが為に十分に世話をすることも出来ません。妊娠・出産も女性にとって大きな事で、ニュースが悲さんな状況(育児ノイローゼなど母親が子供を致死させることなど・ぎゃくたいも含む)を伝える時、「周囲に助ける人・声をかける人」は、居ない現実を残念に思います。一方、出産・育児は、喜びも多くとらします。子供は成長して行くし、「子育て」=「親育て」とも言われ、親も成長して行くからです。若いし、希望がありますよね!!しかしながら、介護は、いつまで続くかわからないし、成長ではなく、「悪化・老衰」と支える私達も若くないので、不安と、不がいなさを、どうしても感じてしまいます。

保育園、幼稚園が都会のようにもっと遅くまでやっていたらと助かるのですが、他のお母さん達も園に気を使って、急いで迎へに行くしまつです。私も園に気を使って仕事の途中で迎へに行かなくていいし、どうしても迎へに行けない日が続くと(夕方5時)(仕事が忙しくて、途中でぬけれない)園にお菓子を持っていったり、中元、歳暮と送り物で大変気を使います。田舎でもせめて夜7時までが普通になると本当助かります。3時、4時のあたり前みたいな迎え時間では仕事になりません。ヤクルト配達のお母さん達ばかりです。台風の時もお迎えだし、家で保育して下さいとか…。仕事してたら無理ですよ。田舎はまだ母親がきちんと子育てして下さい!!みたいな所があって、遅くまで預けておくのはダメお母さんみたいな所があります。東京から引越して来た私は、とっても子育てしにくい地域です。

以前は教職員として勤務していた為育児に関する環境は整備されていたが、とても忙しい仲間の中で休みをとる事が少し自分自身遠慮があった。つつい休みを取りそびれる事も…。男性も休暇をとれる状況にはあっても行使する人は少ないように思う。現実には家族が育児、介護に関わっている状況です。

男女ともに意識改革が重要であるが、それを促すにはまず長時間労働の改善や短時間勤務制度の導入等、社会全体の仕組みを変えていくこと(目に見える形としての後押し)が必要かと思えます。

育児に関する職場環境は十分に整っています。介護の負担が大きく、職場をえらでる得ない人が増えてきました。男女共同参画であれば、男性が介護に参加できる環境、企業のとり組みを進めて欲しい。

子育てにかかわるのは、女性が多い現状だと思います。私は、保育士ですが、園児さんが熱を出した時に連絡をいれる先は、90%以上母です。正職でつとめていても、自分の子どもが病気の時に、休んだり、早くかえったりすることが、むずかしいし、住職場からの冷たい目が…ということもよくききます。男性はそんな気持ちはかんじている人はいないのでしょうか。育休が充実しても、復帰する時の女性のしんどさをわかっているのか。病児保育や乳児保育の充実もだいじですが、男性も女性も自分の子どものことを大事に必要なに応じてすぐかえれる社会のしくみ(とくに中小企業)、そこがかわらないとたくさん子どもをもちたいとは思えないし、今の社会のしくみの中で育つ子どもたちは、男女共同参画をプラスには考えられる基盤をもてないと思います。

子育て・介護の環境、支援制度

どんなに女性の社会への参画等を進めようとしても、どうしても子育てを支援する制度や施設がととのっていないので、前進できない状態が続いているように思える。県や市単位だけでなく国単位で真剣にとりくまないと、いけない問題。

可能であれば子育ては夫婦でしたいが、収入面で共働きとならざるを得ない。産休・育休を使っても短いので小学校を卒業させたあとでも復職できる、再就職（正社員として）できる社会に将来的にはなっていて欲しい。在宅勤務の奨励に対して働きかけて欲しい。男女平等を考えた時に障害となっているのは女性の参加の後押し以上に男性の過剰労働の適正化だと感じた。祖父母による子育てについて、制度上の障害があれば見直されると、共働きのフォローの面で良いのではないか。

男性は頭から、産休や育休を取る（取れる）という考えはないみたいです。男女平等であるなら取って当然の社会になるべし。男性が取りやすいように、企業や社会で何か政策を作っていくとダメだなと思います。子供の成長は早いです。子育ての大変さも多くの感動も、男性自身が感じれる社会になってほしいです。

子どもが産まれた時から親は子どもを中心に考えるべき。昔は児童手当も少なく、生活も苦しかったが、ぜいたくもせず男は家族のために働いた。男女共同参画というが、同じことをやるのが男女共同ではない。男は女の、女は男の立場を理解して協力し合うことが男女共同ではないか。制度が充実することは悪いことではないかもしれないが、子どもがいない（欲しくてもできない）夫婦もいる。制度のために税金がどんどん高くなるのもいかなものか。受益者負担を考えての制度ならまだ許されるがそうはなっていない。男は男にしかできないことがあり、女には女しかできないことがある。それを誇りに思うと同時に尊重し合うことが大切なのではないか。知事に一言、イクメン あたりまえの事だけを自慢するのではなくゴミ出しやせんたくなどもやれる家事メンにもなっていただきたい。ゴミの分別方法、ご存知ですか？

出産後3ヵ月～6ヵ月位いで復職したくても0才児を見てくれる保育施設の空きがなく、復職できず退職又は会社からの圧力があつたりと友達から聞いたりします。将来結婚、出産となると不安になります。安心して結婚出産子育てもできて、女性も社会で活躍できるようになればいいと思います。

自分の会社にも男性の育児休暇制度はきっちり整備されているが、男性が育児休暇を取得しても結局は業務は滞り、自分の首を締めるだけである。欧米の様な男女平等参画の育児については日本にはなじまないのではないかと個人的には考える。

日本のほとんどの企業が子育てに無関心すぎる。企業が子どもの学校行事、長期休み（夏休み等）、保育園の送迎、病院つきそい、看病などについて強制的に男性に休みをとらせる（例えば、病気の子どもを看病しなかったら減給などのペナルティを与えるなど）の意識改革を行わなければ、いつまでたっても女性ばかりが、育児、家事、仕事のほとんどをしなければならない。結果、そういう親に育てられた男児が、この国の未来を作っていくかと考えると、先行きが不安。本当に男女共同参画を真剣に考えているなら、徹底した企業教育が必要！男は会社が指示したことから何でも受け入れるはずです！

多くの民間中小企業においては、男性社員の育児休業等を取って来れる環境、制度、理解は全く無い様に思う。子供のことで仕事を休む早退するといったことに対してまだまだ周囲の理解がないと思います。休まないことや残業することが美徳とされており、子育て世代は両立が苦しいです。

私の周囲では特に不平等はないと感じます。ただ、小さいお子さんのいる女性社員が突然子供の体調等により休むことがあり、家庭や、社会が協力できることはないものかと思えます。その女性も休みたいわけではないので、周囲の助けがあれば、突然、休むこともないだろうと思えます。

新聞、テレビ等では、色々な事が云われてはおりますがまだまだ女性に対しての協力は不十分な点が多いと思います。もっと男性は女性がどれだけ大変なのか、妊娠、出産に対する理解、協力がまだまだ足りないと思います。是非もっともっと協力してほしいと思います。

女性が働きやすい職場や働きやすい環境は大事だと思います。子供がいても理解してくれない人々が多い、近くに預ける所がないという声をよく耳にします。働きたい女性のためにも少し改善した社会になってほしいなと思います。

要員が削減される中で育休、時短があればその仕事のフォローもしなければならない。働くことは良い事だが、家庭のある身で子育て支援を増やされても困る。パートの様な勤務の正社員に、期限のある仕事は任せられない。非常に難しい問題です。保育園も小さい子供を長時間預けると「かわいそう」と発言し時短を進めていると聞きます。保育園も仕事をこえて家庭の有り方に口を出すべきではない。パタニティについては社会の考えが成り立っていないのに制度だけ作っても意見がない。知事も育休を取られたがただのパフォーマンスです。奥様が働いていないならご自分で見るべき。そもそも自分の子供なのに子育てを“手伝”と言っている考えが間違っている。手伝ではなく育ててでしょう。この考えがある間女性に未来はありません。誰も子供を産みたくないでしょう。働かなくては生きて行けませんから。

あまりに古い考えだと言われることを充分承知で、述べます。子育てに向かう若夫婦のヘルパーとして、公の施設だけではなく、両親、兄弟姉妹の助け、助言を広く取入れる、身近な工夫に関していっさいの提言のないことに疑問に思えます。数字として表にあらわれないでも、同居、別居に限らず、良質なサービスが多くあると思います。企業(?)としての施設サービスの限界が今来ていると切に思えます。これは介護サービスに於ても、全く同じだと思います。嫁姑、住居の問題が大きく、多々あるとは言え、視点を大きく、広くすることを切に希望します。記名したい位、正直でまじめな意見でございます。

厚生年金、妊娠8ヶ月まで働かないと支給されないのはキツイ。6ヶ月とかが限界。

会社、職場の協力が大切。

労働環境の改善。

73才の女性です。農業でもありますので娘が2人長男嫁も正職員で働いております。出来るだけの協力をしております。

例えば管理職のAさんが休職し、その間Bさんが代理を務めAさん以上の仕事をしました。Aさんが仕事復帰した時に、Bさんはどうなるのでしょうか。休む側の事ばかり考えるから話しが進まないのです。会社側、そこで働く人間が休職者が居ても困らない様に考える必要があると思います。どこもギリギリの人員で仕事しています。代りの人を雇用し正職の人が復帰したからと言ってがんばってくれた人に解雇を伝えるのも、言われる本人も辛いですよね。会社から結婚しても出産しても戻って来てと言われるような仕事の出来る人になるのが一番。結婚しても出産しても生活に困るから仕事をしたいそんな考えな人は会社は居らないと思います。働く人の気持ちも大切だと思います。

社会における女性の活躍

それぞれの人が、それぞれの希望する生き方があります。女性について言えば、社会でキャリアを積みたい人、家庭で育児家事を頑張りたい人など。それぞれが生き方、働き方をたくさんの選択肢から選んでいけるような社会ができればいいと思います。

女性が仕事をしたり活動するために子育て支援はもちろんだが、これからの超高齢化社会においては介護支援がより必要になってくると思う。また農村部においては女性が働くことへの抵抗は少なくなってきていますが、女性がリーダーになることに関しては年長者の反対があることも事実です。

少子化が言われている中、女性が働く事への理解は大事だと思います。安心して子どもが生まれる様になって欲しいと思っています。

周囲の知識不足から起る問題が多いと思う。各種、情報などしっかり把握出来るしくみ作りの必要性。私のいる職場では従業員の定着率がよく問題が起っていない。女性を役付にするのはいやがる。

会社の重要ポストにつくには国内外とわず異動が求められるが、家庭をあずかる主婦の立場ではどうしても応じることができないため、出世コースからおのずと外れてしまう現実があります。周囲の理解、協力だけではこえられないものがあるように思います。

学校関係者です。女性で能力・適性があると思われる方がたくさんいるのに、管理職試験を受けないことが多い。もっと積極的に挑戦してほしいと願っています。女性自身の脱皮も必要では。

今後、社会職場において女性の増々の活躍を期待します。

出産しても働き続けたい人、育児に専念したい人、自分の希望通りにできる社会であれば良いですね。

近年、女性の社会進出が言われており、働くような(働くべきだ)風潮になっているが、現実的に会社(企業)が雇うようになっていない。女性はやむを得ず離職しなければならない場面も多く、特に配偶者の転勤に伴う離職の場合、女性の職にも責任を持ってもらったりしてはどうか。

同じ職場で、同じ地位の男女の社員が居たら、やはり、男性の方が優遇されている様に感じる。女性側に家庭があれば、「家庭」や「子供(家族)」を理由に、仕事をしにくくされたりする。もっと女性が、働き易く、出世も出来る社会になって欲しい。

仕事をする上では、女性も甘えがあってはいけない。働きやすい場であれば、皆の理解が得られるのでは？

まだ日本は男社会であり、女性が活躍することを良しとしないという人が多いと思う。

妊娠中、市役所やハローワークに内職や短期の仕事があるか電話したら、「妊婦さんは...」と返されました。妊婦にも働く場を与えてほしいです。

自分の以前の職場でも、「女性活躍」の名のもと、総合職への転換を良しとする風潮が広がっていました。今まで女性がしていた「事務」はパートへと移行され、給料は変わらないのに責任も難易度も高い仕事をさせられました。周りの女性も、私生活と仕事のバランスを重視したいという人ばかりで、バリバリ仕事をして昇格していきたいという女性はおらず、皆が「女性活躍」という都合の良い言葉に迷惑を感じていました。私は、それにより育児と仕事の両立はムリと考え退職せざるをえなくなりました。私は、補助的な事務をずっとコツコツしていきかけた。女性の活用なんて迷惑です。仕事をしたい女性だけがしていれば(役職についたり)いいと思います。「女性活用」なんてなかったら、私は今でも仕事をつづけていたと思う。

昔に比べて女性が働きやすい環境になってきている。女性も甘えてばかりではいけない。

女性の社会進出のために優遇策をとるのは間違っていると思います。男女とわず能力のある人、リーダーとしてむいている方を適材適所していった方がよいと思います。

「妊娠したから 優しくする」は違う気がします。それまで会社に散々お世話になってきてるんですし、妊娠で仕事が制限されるのでしたら、退職なさるか、給料下げて周りに理解をしてもらうかのどちらかかと思います。妊娠する事より、仕事を優先している世の中の女性にも失礼です。

地域での女性参画に対する意識が低いと思われる。それと女性の意欲が低いように思われる。

鈴木知事が育児をとられたこと、とても心強く感じた。女性は妊娠すると、職種によっては働けないこともある。そういう時の会社の対応が、出来ればもっと子どもを産んで育てたいという人が増えると思う。今のままでは安心出来ないと思う。又、不妊治療等への理解ももう少しあるといいと思う。今も女性の方が昇進が遅く、給料も少ない現実がある。正すべき。

女性が政治、経済、地域各分野で活躍するのは良いが、特別に女性を優先する事には反対。能力があれば各分野に参加し活躍してもらいたい、各分野に男性枠何人、女性枠何人という風に女性が入るべき枠数を作る必要は無い。又男性も同様で従来女性が主だった分野に男性枠を作る必要は無いと思う。

個人の働く意欲も関係あると思います。籍が入っているが、母子で生活しています。旦那からの援助もありません。籍が入ったままなので、母子支援を受けることができません。

男女問わず双方が適材適所で能力を發揮することができれば良いと思います。平等だから役員や管理職に何%の女性を、というのはいかしくない。適人な人が男性しかいなければ全員男性でいいと思います。マタハラ、パタハラについては、自分の勤めている環境でいわせてもらえば、人件費削減による明らかな人員不足で連日のサービス残業、サービス休日出勤、低賃金でオーバーワークの為、男性社員が育休や時短勤務を申請できる環境ではありません。他の会社でもサービス業ならどこも同じような状況だと思います。女性社員にしても民間は人員ギリギリでとりにくい環境にあると思います。

本人自身が妊娠・出産・育児等の理由でいったん離職し、再び社会で活動するため仕事復帰、再スタートに不安を持ち、ドキドキしながらも頑張ろうとしていると思う。男・女社員の気づかい・思いやりがあれば、本当に嬉しく思います。安心して働くこと、周囲の理解・協力・配慮によって、助けられたり、楽しく仕事を続けられると考えます。少しでも、働きやすい職場がふえるよう願っています。ありがとうございました。

企業でも官公庁でも、男女共同参画推進を目的に能力もない女性を昇進、抜てきすることには絶対に反対である。能力のない人間が上司になることには、相手が男性であろうと女性であろうと、周囲は納得できず、組織全体の士気低下、成績不振を招くからである。一方で、能力のある人物なら男女どちらが登用されるのも皆が納得でき、外部からも「あの会社は能力があれば女性もきちんと重職に就ける」と評価が高まるだろう。民間企業は能力もない人間を昇進させるのは社運を左右するのでできないが、官公庁は「男女共同参画」の掛け声の下、「まず登用から」と能力の有無の正統な判定を度外視して、有能な男性がいても無能な女性を昇進させることがある。これは厳に謹むべき。まず、ちゃんとリーダーとなれる女性を教育によって増やしてから、誰もが安心、信頼できる昇格制度を普及させてほしい。

社会における女性の活躍

現在の日本の社会ではまだ男中心であり女性が同等に働く事は難しい。又女性にも責任があると思われるのは、誰でも出来る職業でなく、専門職「私にしか出来ない」職業を身につけるべきだと思います。女性自身が向上してほしい！！

女性の社会進出や職場での管理職の活躍は、大いに期待したいところですが、反面結婚しない人、又子供を産まない人の増加ともなり、むずかしい問題点もある。家庭、職場、社会通念が今以上に前向きな考え方に変わっていくよう、学校教育の時から、男女共同参画の取り組みを積極的にすべきと考えます。

女性が仕事に就くことはいいことだと思う。結婚、出産を経て、復帰することもいいことだと思う。男性が協力することもいいことだと思う。しかし、現実には出産すると身体的にきついのは女性だけ。男性には大変さはわからないものだと思う。若い人には、もっともっとこの大変さを理解してもらえればいいなと思う。

男性は基本的に仕事は頑張ってくれますが、家では疲れているので家事などしたくないと思います。疲れて帰ってきたら家族がねぎらってあげたいのに、夫婦共働きでは家庭の生活にゆとりがなくなってしまおうと思います。妻が仕事に出ても育児や家事は結局妻がすることがほとんどで、女性自身が育児や家事をしないといけなと思って、正社員になりたくてもパートで我慢することが現実のような気がします。女性が働くことに理解して協力してくれる祖父母や他の家族がいない限り、夫婦共にフルタイムで働くことは不可能だと思います。でないとも子どもがさみしい思いをします。

女性に活躍の場が与えられたとしても、自分の方で拒否することが多い。女性自身も積極的に社会で活躍する自覚を持つべき。それには家庭、職場、社会の環境整備、制度整備も当然必要になる。社会や職場が変わらずに女の活躍ばかり期待されても困る。女も安心して楽しく働ける社会になってほしい。いつまで待つのだろう？！

女性が社会に進出して活躍していく必要はあるが、そうすると男性の家事・育児・介護などの負担が大きくなる。しかしながら、男性の多くは、長時間労働、休日出勤なども多いのが現状である。女性の社会進出を促すためには、女性への制度の改革も必要だが、男性の社会での仕事の負担を減らす必要がある。

女性がより今よりも活躍していけたら、様々な考え方が男性と女性両方の目で考えられ良い結果になると思う。女性が能力を発揮し、社会貢献をして居る働く女性の姿は評価できるが子供を預け、単に外に出たい、贅沢をしたい等々理由で働いて居る女性についてはいかがなものか？少子化時代、我々は代々子孫を残し、社会を創り、日本維持する使命があり、自由・自分らしくと言う利己的な考えが優先され、子育てに於いても社会への影響が出て居るのではないかとされる。又若い者の就職への道を閉ざして居る一因でもあると思われる。先ず、家庭（子育て）を良くすることが人間形成に繋がり、社会を良くする源だと思います。

子育てしながら働いている女性のほとんどは、働きたくて働いているのではなく家計を助けるため。子供がせてめ小学、中学を卒業するまでは家事、育事に集中できる世の中の方が出生率も上がるし、子供の手が離れてから働いた方が仕事に集中しやすい。

ひと昔前は結婚して子供が出来ても、男性一人の給料で生活することが出来たが、現在では大変難しくなっている。女性も正社員で働きつづけるためには、近くに居る親の協力が必要で、公的機関だけに頼っている女性も良い仕事が出来ないと思う。

せっかく妊娠してうれしいのに、会社に報告するのがすごく気がひける。言ったら言っただけで“おめでとう”ではなく“そうか...”と言われる。勤務状態の見直しや人員配置の見直しがめんどくさいのであろう。復帰後、職場を移動させてもらい、今は楽しく仕事もできているが前の職場の上司はあいさつもしてくれないし、目を合わせてもくれない。女の班長も自分のまわりには“お金”目的でやっている人が多いため仕事面では全く頼りにならない。

建設業関係の企業では女性の活躍に対して作業性から孝えると活躍が制限される。

愛知県三重県共に女性が社会進出できる環境になっていないと思います。私の住むいなべ市においては、女性が地或に出たり、男性が家事、育児をする事にとっても閉鎖的です。昔からの風習やしがらみが強いのかも知れません。

職場では、女性は“女の子”という感じで接し方や、仕事の与えられ方に男性との差を感じる。特に年齢が高い男性（50代後半～）がそのような傾向にあるように思う。妊娠中の女性が働く場合、周りが接し方がわからず、過剰に思えるくらいの気の遣い方をしていたりもするので、個人差はあると思うが、“こんなことは大丈夫”と目安になるようなものがあると女性自身も話をしやすいし仕事も効率的になるのではないのでしょうか。

マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント
マタニティハラスメントで職場に戻れずうつ状態になった人を知っている。職場に戻れば自分の居場所がなく机もなくやむなく退職されました。
マタハラという言葉自体が、社会全般に行き渡っているのはとても良い傾向だと思います。残念ながら、パタハラという言葉は今回初めて聞きました。これもいずれ広まっていくのかなと思います。しかし、一部大企業などではそれに沿った社員へのフォロー、啓発活動などがあるかと思いますが、大多数の中小企業では果してどうでしょうか？まだまだ意識の低い人達がいるのでは無いでしょうか？これからの若い女性達がかっと働きやすい社会に少しずつでも変わっていく事を切に願います。
昔勤めていた職場は殆んど女性が多くハラスメントについては色々ありましたが、現在の様な問題になる様な事はなかった為、女性達は働きやすかったと思う。
ハラスメントする側の心理状況がよろしくないのだと思います。人員不足や金銭の安さ、雇う側の対応が社員に差があったり、悪かったりが一番の要因だと思います。現場と経営者との温度差、経営者の自分たちさえよければ...という色がうかがえます。消費税等もあがり、しかし、中小企業や民間医療職は基本給があがらずマイナスになるばかり。生きにくい世の中をなげくばかりです。そういった人たちのねたみ、そねみがハラスメントになるのだと思います。
マタニティ、パタニティハラスメントに対して、年配の方に特に理解がない。(考え方が古く、人におしつけの気持が強い)
マタニティ 妊娠中の従業員にいやがらせ パタニティ x
現在、イオン(株)に働かせて頂いて居りますが、マタニティの方もハラスメントはない様です。パタニティハラスメントと思える言動上司もいるが、そう思えない方もいる。自分自身、もう少しいろいろと時間数を増したりして、仕事を増やしたいと考えている。
マタハラ、パタハラを受ける人に対するケアやこれらが起きないようにすることは大事だと思います。しかし、これらは受ける側の受け方という主観的な判断基準が入るためなかなか難しいと思います。
少子化の問題とかあるのにそんなハラスメントはおかしい。マタニティもパタニティも大切にすべきだ。パタニティハラスメントとは何かよく分らない。
妊娠中とか子供が熱が出たとか本人が病気になった時に、仕事は出さるのに上司から圧力かけられ仕事クビになりいやな思いをした。
男性自身、心の中では育児休業をしたいと思っていても、仕事が多かったり、他の同僚や上司が理解してくれるのかわからないという不安から、自身の判断であきらめている方がほとんどなのではないでしょうか。私の夫もそうでした。パタニティハラスメントが起こる以前の問題がまだ山積みだと思います。
妊娠、出産を軽く見ている傾向が有る様に思え仕事を続けることを主に思うのでそのようなハラスメントが起きるのかも。本当に大変な人も居るのも事実でも、育児を理由にズルしている人がいるのも事実。
職場における社員同士のコミュニケーション、配慮不足からマタニティ(パタニティ)ハラスメントが起こると思えます。休職することで職場に迷惑をかけるのですから、いやみの1つも言われることはある程度がまんしなればいけなくとも思えます。権利を主張するのであれば、それなりのことをしていたのか...“マタニティハラスメント”という言葉だけが1人歩きしないように双方が理解しあわなければいけないと思います。男女共同参画も少しずつかわってきていると思います。今までの風潮をかえていくことは時間がかかると思えます。行政や社会が少しずつ啓もうしてほしいです。
今の職場は、マタニティハラスメントが行われていて、職員の希望を無視して自主退職させようと、経営者からのいじめが毎日です。妊娠しているのに早朝出勤や残業もさせられるので困っています。マタニティハラスメントがどの職場でも行われないように、早急な対応で助けて下さい。
マタハラ、パタハラを理解をもっと得られるよう、会社に対する教育的場が必要だと思う。
つわりが長引いて、仕事ができなくなりました。男性社員より、女性社員からのハラスメントが多かったです。マタニティハラスメントはテレビ等でよく言われていますが、パタニティハラスメントは聞いた事がない。男性が育児休業などを取る話はきいていい事だと思いますがさまたげる行為がきいた事がない。
空気が読めない人(発達障害)が嫌がらせをすることが多いのだと思います。そういう人たちは、そんな事を言えるの？というような事まで言えますから...
マタニティハラスメント、マタニティハラスメントの言味がわからない。
マタニティハラスメントにしる、パタニティハラスメントにしる、マスコミ情報が過大すぎるため、知識がないうちに情報だけが耳に入り、中途半端に理解してしまっているように思う。
職場での環境によってマタハラとか起こるのではないかなと思う。例えば、妊婦さんには無理な仕事とかあっても、そのまま働いていると誰かが仕事をしなくてはならなくなって、他の人たちが仕事量が増え、イライラするのではないかなと思う。妊婦さんが大変なものわかるし、仕事もしたいのもわかる。でも、周囲の人たちの事も少し考えてあげると、マタハラとかはなくなるのではないかな。また、そうなって欲しい。女性も平等というのであれば、働く環境を整えていくように行政も指導して欲しい。
マタハラ、パタハラにかぎらず、人としてのモラルの啓発が重要。近年、モラルの低化がいちじるしく、もっと一人一人がモラルを学ばなくてはいけないと思う
マタニティ、パタニティハラスメント、障害者に対するどんなハラスメントも相手の気持ち、相手に対する思いやりの心が少しでもあれば防げる問題だと思います。大人になってからはそんな思いはなかなか生まれなから、小さい時から生活の中で自然と親、社会が子供に教えることが出来れば少しは子供が大きくなって他人に対する思いが違ってくるのではないかなと思います。
本当の意味での男女平等(家庭、職場)がまだない。だから、マタニティハラスメントもパタニティハラスメントもない。それ以前の問題。女性の採用について問題発言もあるように思う。男性を採用しようとする傾向がある。男性は定年まで務められるが女性は結婚し妊娠、出産すると退職せざるをえないのが現代である。(現職場での傾向)さまざまな面で不備がいっぱいある。この不備を改めようとする、役職員一丸となった、改革が必要であります。職場環境の整備等問題ばかりですが、本当の意味での男女平等のため役職員の奮起に期待する。女性の社会進出ばかり言っているが、区別と差別を混同に使っている様に思う。「働く女性が偉い」という風潮の為、専業主婦や妊婦を下にみて、結果、マタハラなんてことが起きてきている様に感じる。
パタニティハラスメントについて、妻を助け、お互い子育てに専念する気持はあっても、男子にとっては企業の理解が得られない状態では育児休業も取りずらいし、仕事上でも雇用事案等では何にか取り残された気分となるし、出世のさまたげにもなりかねない気がします。

マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント

保育園の待機児童の問題、H27.4月からの保育園入園に関する制度や児童手当、地域の理解のなさ、すべてに目を向けても、子育て世代を応援、支援しているようには全く思えない。子どもに対して暴力をしてしまうなど、悲しい事件があるたびに「今の若者は」と言う人も少なくないと思うが、助けてくれるはずの50代～60代の父母（義父母）はまだ働いていたり自分の趣味に夢中で助けを得られず、正規あるいはパートの職が探さなければ保育園に入らず、保育園に預けられなければ仕事に就くこともできずに家計は苦しい。そんな状況で子育てが充実するはずがない。また子どもを育てながら、必死で働いているにも関わらず、同僚（先輩）に応援の声ではなく「私のころはそんなことできなかったから今の人はいい」と嫌みを言われたり、休まなければならない（申し訳ないと思うけれども自分が休むしかない）時に「義母に預けたらいいのに」「これ以上休まれたら困る」とプレッシャーをかけられる。制度があってもそれを取得できないのが現状である。またわざとだんなさんと奥さんの休日をズラしてシフトを組まれるというパワハラ、マタニティハラスメントを受けている人も知っている。子育て世代が安心して生活できるように改善を求めます。保育園の増設等、強く求めます。

私が勤務している会社は小企業である。小企業ゆえに1人1人が受けもつ仕事量が極めて多く、1人でも休みが出るとその業務をカバーすることが大変である。ましてや女性社員が妊娠等で長期休暇となると、長期間もその人の業務をカバーしなければならなくなる。かといって産休明けに現場復帰すると約束されていれば、他の人を雇用する余裕（金）も社にはない。そうすると頭の中ではハラスメントをしてはならないと理解していても、日常業務に追われ、半強制的な労働を強いられるとだれしも悪口を言いたくなり、それが行動に出てしまうのではないのでしょうか。女性の活躍の場を広げるには法律や制度の整備も大事ですが、まずはこういった現実問題から改善が必要では、妊活中の代理社員を採用できる社会であれば良いですね。

男女が平等だと言いつつも、法律、環境はまだ平等になっていない。世の中がマタハラや女性の社会進出といっても、現状は保育園不足、厚生労働省、文部科学省の管かつ問題で小学校と学童の連携（市役所も含む）が育てていく中で不便である。女性が働くには社会、会社だけでなく、家庭の事情もあると思うが、もっと働きやすい環境を作してほしい。そのためには、保育士、看護師などの人員かくほのために、給与支援などがあればもっといい。

マタニティハラスメント、パタニティハラスメントと同様、不妊治療を行っている人、独身の人に対するハラスメントもあると思います。誰もが安心して暮らせるよう、また生活に（多少でよいので）余裕をもって暮らしていけるような施策があるというんな立場の人を思いやる社会になると思います。もちろん施策だけではアカンので、思いやりをもって生きていく交流の場が常設となる地域をつくっていきたいと思います。

中小企業においては、男性社員は毎日多くの業務を抱え、長時間残業をし、休日も出勤しなければならないような状態です。育児休業の申請などでできません。育児休業がとれるのは公務員と大企業の従業員だけだと思います。例えば育児休業が認められたとしても、他の社員がその人の仕事をする事になり人員の補充が行われず、他の社員がパンクしてしまうでしょう。他の社員もいい顔はしません。子育て中の女性パート社員が「子どもが熱を出した」と言っしょっちゅう仕事を抜けることがあるという話を聞きました。その人の仕事を他の社員がしなければならず、ただでさえ仕事が多いのにさらに多くの仕事を任せられ、困るそうです。男性も女性もギリギリの人数よりもっと少ない人数で働かされています。中小企業がこのような状態である限り、マタハラ、パタハラはなくなるとは思いません。

人員がギリギリの所では産休、育休がとりにくくマタハラが生まれるのは当然と思う。フォローするまわりの人間の努力にだけ頼るのは無理がある。制度としての援助がないと大企業でもないかぎりマタハラはなくなるとは思いません。

長年保育士を勤めておりますが、私自身の職場でも、また保護者の中でもまだまだマタニティハラスメントがあると思います。特に今問題となっている、第2子出産の際、第1子が保育園に在園できるかどうかの問題は関心あります。今テレビで社会問題になりつつある件です。確かに、第2子を出産してもまた働らくつもりであれば、第1子の保育園継続を認めるべきだと思いますが、実際現場を見ておりますと、第2子が生まれるとしばらくは家にいますが、慣れてくると第1子を預けて第2子と外へ遊びに行ったり、楽しんでいる母親も見かけます。子育ては地域や園の協力も必要ですが、本来親は子育てをするべきではないでしょうか？本来親が家にいるのなら。そのためには、第2子以降を出産したあと、一担退園するが、育休が明けて、また保育園入れるという約束の制度があれば、母親は安心してきて一担退園し、子どもまた職場復帰できる安心感をもってゆとりある子育てができると思います。

“パタニティハラスメント”は知らなかった。男性（夫）が育休、時短勤務をとれたらその妻や子供はとても心強いと思います。幸せだと思つ。女性の産休・育休、時短勤務、子供の行事休み、子供病気休み、（妊活）-不妊治療 特に男性の育休、時短勤務、子供行事休み、子供病気休みなどが気軽にとれるようになれば、いいなと思います。せつかく男女共同参画計画改定するなら日本で一番男女共に働きやすい三重県にして下さい。

今後女性の活躍の為に、子育て支援が重要。仕事に影響しないバックアップ体制を希望。校区外の保育園にしか入れない。2人目の子供が生まれたら1人目の子が保育園をやめなければならないのは困った。マタハラは職場の業務過多も大きな理由。多様な雇用形態が必要。（超短時間での人材確保...）

マタニティハラスメントは良くないと思うが、周囲が配慮して当たり前といったような本人の態度も良くない。通常業務に支障をきたすなら休職、退職してはどうかと思う。妊娠前と同様の働き方ができないのに職場に居ると周囲に迷惑がかかる。

私は現在育休中です。妊娠7ヶ月で今の職場から仕事を増やされ体調的にも仕事でのストレスでもキツかった為、仕事を見直してもらつ様伝えましたが、何一つ対応してもらえませんでした。また、1月から産休に入るため、12月から引き継ぎをしてほしいと伝えましたが、実際に引き継ぎをしたのは産休に入る間際でした。産休に入るまで、流産しないか不安になりながら仕事をしていました。企業だけでなく、もっとたくさんの方にマタニティハラスメントのことや妊娠中の精神状態（危険性）等を知ってもらい、1人でも多くの妊婦さんが働きやすい職場が増えつてほしいと心から願っています。

私が長く勤められたのは、家庭の理解があっただと思つ。職場にもめぐまれてマタハラとかハラスメントはなかったです。

今、子供が少なくて、困っている時代です。なのに女性のおかれている場所（社会）でいろんなハラスメントがある。もっと暖かい目で長い目で会社での時間の流れを組変えるべきだと思います。安心して子供を産めて、自分のスキルが生かせることのできる社会になればいいと思います。男性も仕事だけという時代は終わりました。ともに子供を育てることは、会社からももっと試みてもらいたいテーマだと思います。

マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント
私の妻は育休復帰後、会社の経営状況の事情により異動し、事務 工場作業になり、不慣れの為、ミスをする と嫌味を言われ、休むと嫌味をいわれ、精神的にボロボロになり、その後、経営状況のあっかによりリストラにあ いました。その後は、他の会社でパートとして勤めています。正社員としてずっと働くつもりだったので、我が 家は予定外で家計が苦しいです。もっと育児中の女性に優しい社会になってほしいです。
マタニティハラスメントは理解しにくいです。産休・育児休暇の穴うめの求人は求職中の立場からすると本腰を 入れられないのでは?とったりします。
ハラスメントを重視してしまうと、逆にそこで反感をもたれてしまったりするので、とても難しい所だと思いま す。誰でもが当たり前に経験する事ではない事なので余計かも知れません。たとえば、「私には子供がないの で分からない」と言われるとそれ以上何も言えませんし...。誰もが平等に与えられた事ならハラスメントは起こ らないのかも知れないのかなあと思ったりもします。いくら同じ経験をした人でも、「私の時は、こうだった」 「これくらいの事はした」等言われる人もいます。自分の経験がいつでも正しいと思ってしまう人間性の問題か も知れません。余りにも守られすぎると反感を持つのが人間なのですが、日本人の性質なのかも知れないなあ と思ったりします。誰もが平等で同じ様に生きていく為には、国の有り方を見直す事が最優先なのかも知れま せんね。
ハラスメントは業務上かなり支障をきたすものなので、会社内で相談できる機関、自治体で直接企業へ理解する よう働きかける仕組みを作るなど対策が必要だと思えます。
職場における女性の活躍が望まれる事によりマタニティハラスメント、パタニティハラスメントが少しでもいい 方向に行くのではないのでしょうか。私くしも2人の子供を、0才より保育所に預け働いてきましたので会社の理解 不足には腹が立ちました。
小さな子は病気で病院に行ったり、仕事を休む事が多くなるとやはりいい顔はされないと。子供の病気 などの理解や配慮が必要となってくる。
私は職場のマタニティハラスメントの経験はありませんが、家の中でもマタニティハラスメントのような事はあ ります。妊娠中の体のトラブルなどが理解されなかったりしました。お互い何か助けてもらう事は出てくるは ず。少しのやさしさだけでいいと思うのですが。
パタニティハラスメント自体を知らなかった(言葉)
マタニティ・パタニティに関する啓蒙活動が、必要だと思えます。
男性も女性も自分にデメリットが大きくなければ、これらの問題に協力できるし、よい経験ができ、社会も個人 も成長していけると思う。現実には誰かを助けるために自分が今以上の負担が求められるのはつらいため、ハラ スメントにつながってしまうのではないかと思う。就活中の娘は「くるみマーク」のある企業に注目するな ど、意識の高い場所へ、人が注目し、好感をもてるようにしてほしい。
女性自身が出世や社会進出を望んでいないようにも思える。地域で活躍している女性は多数みえるので、その方 たちをモデルとして取りあげるのもいいと思う。目標を達成するにも法整備も必要だと思う。
総合職として入社、7年勤務し産休・育休を取得し復帰する際、保育園の延長利用ギリギリの19時までには帰宅し たい(定時17:00まで)と申し出るとパートへの雇用契約変更を言われた。今までのキャリアをなくしたくな く、総合職での復帰を望んだ結果、日常的に深夜残業となり、家庭とのバランスがとれず退職することとなって しまった。仕事自体は好きだったのに続けられなかったことが今もくやしい。
63才主婦です。かつて私も結婚前まで働いていました。当時は皆、結婚相手が決まると、紙吹雪の中を通り抜けて 寿退社式で送迎されるのが夢でした。大きなお腹の先輩のお腹をなでくり回した時代でしたので、マタニティ ハラスメントで沢山の女性が悩んでいる事を知り、考えられない信じられない気持ちです。
テレビの特集などで見た事がある程度ですが、三重県内の職場では極力このような会社がなくなることを望みま す。少子化が進む中、子供を産む事が出来るのは女性だけです。嫌がらせなど、妊娠中のストレスは絶対に周り が最小限にしてあげなくてはなりません。人間どおしの心のコミュニケーション、思いやりが根本なのではない でしょうか?
自分自身が現役時代17年前、女子社員が学校行事等で休み機会が多くなり、退職を強要した事があり、今も本 当に理解がなく発した言動を反省しております。問42、43は以上経験から「わからない」としました。
マタハラを受けたことも、周りで受けたと聞いたこともないので、特にありません。

家庭での躰、学校や地域での教育
将来管理職になる人への子供のころからの教育が一番重要であると考え。古い人にも理解者はいるが考え方が古い人が未だ多いのが現状か？
職場改善も必要だが学校教育から始めて行くことが大切だと思う。
もっと人の気持ちを知れる人間性の教育を家庭内を中心に行う必要がある。
少子化、高齢出産、各家族、同居、未婚者、職業別、家庭、親戚 学校教育、性格、理解度、知識レベル 意識する環境 不妊、社会制度 性格、生き方 たくさんたくさんいるんなことが一つになって考えることはほんとうに難しい。規則としてもっていかないと、会社もその周りの人も理解し行動するには難しいのではないのでしょうか。子供がほしくない人、ほしい人、気持ちも違い年齢も違い、ハラスメント対策で頑張っても、少子化においてちをかける不慮の事故や、中絶、虐待、本当にどこから手につければよいのかわかりません。教育が大事なのではないのでしょうか？母親 父親、人として、いじめでの自殺、かなしくなります。周りはハラスメントを受けながらも子育てしても悲しい事があります。何が大事なのでしょう？思やりを大切にすればどうにかなりそうなのに。男女共同わかります。しかし、男性にしかできない事、女性にしかできないことの区別もあります。結婚されない、できない方も数多く、なかなか理解者は少ない。しかも行動するまでには、周りの人、トップにもよる。どんどん理解できない人も増えてくる感じの中、ハラスメントは難しく問題はいじめと同じ位大変なことだと思います。5000人の中の一人の意見ですが教育だと思います。
社会全体が悪いので人としてできていない為人間を心身をきたえた方が良いと思うので、中・高校生になったらいろんな事を教える事を学校などで教えたら良いと思う。
子供は未来の日本を発展させ、支えてく人です。国、社会で、もちろん家族で育てていくのがベストです。そのために、人格形成がなされてく子供時代は大切です。大人みんなが責任を持つべきです。特に両親は大です。子育て等、親を教育していく事は大事です。
結局は人間性の問題、常に優しさ、思いやりの持てる人間育成に力を注ぐ。
昔から、日本にはなかった文化で、革命的な事が必要。教育。
親と子供の話し合いが少ない 人間としてのホラルがない 自分だけがよい事につながる。
本当に大切なことは、両親がいての子供教育だと感じています。最近、シングル家庭が増えつつあり、仕事の不満がどうしても自分の子供にあたってしまいうケースが多いのは事実です。三重県だけでもこのシングルマザー（ファザー）の家庭でのケアにもう少し時間をかけて取り組んでもらえればうれしいです。一番住みやすい県が「三重県」といわれるように願っています。又、一つ私が考える事に最近の事件をみても自分が生かされているを生きていると考えがちな若者が増えつつあり、又、親が子を愛する気持ちの大切さや「人の痛み」がよく理解できるなど。もう一度原点にもどって自分を見つめ直さなければ、どんどん事件が増えてしまう恐れがあります。「感謝」と「御礼」、この言葉が失われつつあるのが心配です。乱文乱筆お許し下さい
年輩の方の中には、まだまだ「女は家事・育児」...という考え方が根強く残っていることを、最近も痛感したところである。（「食事を、作っていない、ここ最近は何...」という話を職場でしたところ、「ダンナさんがかわいそう」といわれた。）学校教育の中で、幼ないうちから意識改革を進めていくことが必要だと感じる。育児も家事も互いに協力しながらすることや、家庭の外ではいけないことは家庭内でもしてはダメなこと（DVなど）は、社会全体の啓発活動ももっと必要である。
30年前頃よりP.T.A活動から男女共同参画参画にかかわりましたが、学校管理職の意識の低さにあきれておりました。その後、地域活動に掛ってききましたが、ここでも同じように古さが変わらない、変わってゆかない現実に意欲がなくなりました。学校教育（子供達から、意識をうえつける）から、それには教職員の意識から変えてゆかなければ、駄目なのではないでしょうか。
男女共同参画については、子どもの頃から教育の中で取り組んでいくべき課題であると考えます。基本的な価値感の違いからいろいろな問題が起きてきていると思いますので。
子供・児童の時から教育が充実する事だと思う。男性中心の雇用（総合職etc）が中心なので、その改善をしなければ、広がらないと思う。少子高令化社会を何とかすべく早急な施策を打たなければいけないと思う。子供は社会の宝として！
社会で子供を育てて行くと言うことがもっと重要視されなければいけないのではないのでしょうか。
子供を社会全体で育てるという意識がないと思う。親だけが育てるのではなく、みんなで育てた方がいいと思う。
子供の頃から学校と家庭で躰てゆくべきと思う。一般常識もだんだん悪くなってきており命の大切さを含め築きあげていくものと思う。

年長者（経営者層や地域の高齢者など）の意識
現時代の勉強不足だと思います。男女共同参画について高令者も勉強して現時代を更によくしていきたい。
40代・50代の男性の家庭・育児の考え方のレベルが低い為、家族サービスを理由に退社を早くしようとすると、少し嫌味な言葉をあびせられたりする。40代・50代の意識改革が必要だと思います。
社会通念（特に権力を持った人間）の改革。
出産、育児、介護の支援を考え、仕事の継続や社会進出、ハラスメントの好転を期待する為には、一般周知よりも、社長、役員上司等、上に立つ立場の方々の意識改革が、最も早道であるように思われます。
男女平等は、社会的に難しい。特に、年配の方がいるとその影響で考え方が、なかなか変えることができないと思う。会社に対して、男女平等の話を総務担当とかではなく、社長、取締役などに直接聞いてもらう。県などからの講習などを開いたら少しは変わるかも。
女性が子供を生めない生まないのは、やはり社会の環境が整備されていないため。安心して産めないと思います。今の社会、特に日本は古く男性社会だと思う。議員さん、教育委員会いろいろお会いする機会がありますが、男性、特にお年をめされた方たちの考えの古いこと！！ゾッとします。会社の上司といわれる方々も男性がほとんどです。男性が育児をするという考えが頭の中のないのでは？と思う発言をされるとガッカリします。女性が安心して妊娠し生活の保障と子育て支援があれば...三重県も、そういういみで住みたい県、N01にしてほしいです。

国や県の男女共同参画の推進

これからも、県の推進している内容をもっとPRして下さい。期待しております。

男女共同参画をテーマとする勉強会（フォーラム等）の開催を、県下各地でもっと積極的にを行い啓発につながる形になるよう検討されると有難いです。

統計や県民の要望等の情報公開の機会が増えれば、それを見て各々の意識に変化が出てくると思います。

不安や心配な事を自分で解決出来ない時に、誰にも言えない社会、解決の出来ない社会にならないようにしてほしい。家事・子育て・介護を1人で...となると、その人までしんどくなって誰かの助けが欲しくなると思うので、リフレッシュ出来たり、誰かと共有出来る時間が持てる社会になって欲しい。そのためにも、男性と女性の互いの理解、女性の社会での居場所など作って欲しい。良い企画をお願いします!!!

安倍総理が財界人を集め賞金を上げよと要請したように知事においても県内商工会等に要請されたいのではありませんか？男女共同参画についても公務員（県庁）が率先して行うべき、数値化すべき、格差社会の創出など政治が悪くなっている。社会が悪くなっている。元来日本人は優しいから上記の問題は良くなり解消されていくのではないかと？

行政が積極的に企業等へ訪問啓発できる条例法令の整備施行等あれば良いか。制度等のPR参画しやすい催事の企画立案（子供と一緒に参加したい様になる。幼稚園保育園を通してパンフを配布。（民間のキャラクター祭り等にはお金を払っても皆んな参加しているのでは...？）小学校経由する必要も有るかも...。

地域や家庭内に於いて昔ながらの慣習（男尊女卑）が残っている現在ですが、年々男女の格差は縮まってきているものの一気には良くはならない。各市町村の広報で代表的な企業の取り組み（男女共同参画）を例題に取り上げ世間に広報で知らせ知ってもらう活動を県、市町村で取り組んで頂きたい。

国の支援体制が低すぎる。（地方含む）

どの問題も社会全体の考えが変わらないと仲々、共同参画がスムーズには解決の方向は難しいと思います。先づは地域市町村の啓発が大事かと思えます。

男女共同参画会議のメンバーをまともな人にしてほしい。前はひどかった。親戚で、発言を読んでびっくりした。

三重県知事を始め、市長、役所勤めの方（男性）がもっともっと子育ての為に休かを取りもっとブログや広報等でアピールして頂きたい。もっと男性も子育てに参加出来ると思う。（子育ての為に会社を休む事が悪くない気がする）と思う。

実現出来れば大変良い社会が生まれると思いますので、ぜひ進めてほしいです。

核家族が多い中で、夫婦で働く事が子供に寂しい思いをさせ、小供の常識が失われ、数々の悲しい思春期の事件が報道されています。子供を育てる暖かい家庭と地域社会は重要な課題を中心にした行政の力が必要と思う。その上での男女共同参画で明るい家庭から育った子供が成長して、よい地域社会が生まれるように思う。

三重県は日教組の大変強い所。学校の教育に大きな影郷を与えていることに心配しています。三重県の厳しい対応を望みます。男女協同参画にも大いに関係ありと思えます。

男女共同参画も人権も行政が積極的に立案、行動を行う。

それぞれ個人の意識改革の問題だと思いますので、学校教育、社会教育などで広めたり、広報誌等で啓発するのはどうでしょうか。

男女共同参画の会合に出ると、参加している年代性別が極端な事に驚く。会合には20代の参加者はいない。30代の男性女性参加者も少ない。参加しているのは、40代以上の女性と50代以上の男性ばかり。育児・介護に関わっている当事者の出席がないことで、議論が現実と乖離し極端な話ばかりになっている。今年に至っては、伊勢市では女性のみを対象とした男女共同参画の会合を開催した。20代30代の男女の参加を促す広報や開催日時やネット参加などの仕組みが必要だと思う。三重県は、高校生の男女に対して男女共同参画への広報や会合への参加を促すべきだと考える。

ブラック企業大賞がブラック企業の公表なら、逆に女性が活躍し、サービス残業や様々なハラスメントなどに取り組んでいる企業を紹介や広報誌などで公表して欲しい。

知識があるかないかで大きな違いがあると思います。研修を続けていかないと、変わらないと思います。

男女平等の社会となっていないからおこる問題が多い。県議会議員の定数も男女同じ数で当選者を決める。職業議員をなくすべき。出席した時間給にしたらどうでしょうか？

公務員が受けている男女平等の精神。一般企業に勤める女性の大半はうらやましく思っているのでは。その精神を一般企業取込みに積極的に働きかけるべき。机上での仕事では解決はほど遠いのでは。

アンケート
アンケートに掛かった費用の2倍以上の効果を出して下さい。
疑問がある問38の3、4、の項目は女性へのパート、アルバイトへの強要と思れる。三重県桑名市多度町では障害者を軽視する事が昔からある。三重県桑名市多度町では自治会長などの要職を生れ育った者が代々就任している。(例・親類・知り合い・同級生などで自治会長職などをタイ回して行っている風調が以前からあり最近他県などから引越して来た者は、流れ者よそ者扱いとなる一面がある。昔から住んでいる者の考え方を改めないかぎり永遠に差別はなくならないと思う。このようなアンケートをしてもムダ・紙のムダ使いになってしまいます。
返送用の封筒が小さい
くだらない時間とらせるなあほ！！
このアンケート自身男性・女性どっちにアンケートをもとめているのかわからない！男女共同参画のアンケートの割には女性に対してのアンケート内容が多くこのアンケートこそ男女平等のアンケートになっていないと思う！本当に男女のことを真剣に取り組むなら誰が書いても記入出来るアンケートにする事が必要かと思いました。
このアンケートの協力について私は年を取り過ぎてわからない事の多いです。アンケートを出す人をもっと若い人にして頂けたらもっともっと良い意見が出ると思います。わからないに 印が多くなりすみませんでした。このようなアンケートが何の役に立つのかわからない。
私は年令が70才代なので、このアンケートの調査項目によっては解答するのが不適切ではないかと思いました。
このアンケート、むづかしいです。専業主婦は特に...
問15の設問の解答の選択枝になぜ、「親」がないのですか？
前回は三重県男女共同参画に関するアンケートをしました。全然あたらない人が身近にいます。
このアンケートでの今後の役立度が全くわかりません。このアンケートで、何か変わればよいのですが...
此の様な横文字を使わず、日本語で書く。
アンケートの集約結果を参考として、三重県男女共同参画基本計画の改定を検討いただきたいと思います。また、できる限りアンケートの結果と結果を反映した事項等を公開いただけると幸いです。
意見、要望はありませんが男女共同参画には賛成です。意識の向上に期待しております。頑張ってください。

その他

世の中が精神的な落ち付きがもてるようにならなければと思います。ありがとう、お互さまがもっと根付いてほしいと思います。

介護士、保育士などのパートにつきたくても、正社員なみの責任と仕事を押しつけられ賃金が安すぎる。県で一番の過疎が進む南伊勢町に住んでいます。真珠養殖、みかん栽培など、町の基幹産業が衰退し、若者が働いて結婚、出産できる情勢がありません。25年先には県一の消滅町となります。したがって、男女共同参画、職場の女性の活躍又マタニティハラスメント、パタニティハラスメントの問題など起りようない状態です。若者は都市へ流出するばかりで、結婚できる収入がありません。地方再生（創生）は地元、県国が一体となり起業家を育ててもらいたい。南伊勢高校（南勢校舎）も水産課、カンキツ科、IT科などにチェンジして是非残して欲しいと思います。鈴木知事に大いに期待しています。

自分も相手と同じ立場ならどうするか、あるいはどう思うかと言うような考え方を個人個人が持たないといけないのでは...

男女差別だけでなく、精神障害者に対しても就職差別が今も尚存在していて、就職活動をして採用されなかったり、すぐ解雇されたりして、理解されないまま精神病院に強制入院させられています。若者就業サポートステーションやその他の機関を設け、病院へも出入りし、心底、心身になって、社会復帰の援助をお願いしたいです。広汎性発達障害（アスペルガー）と差別され、偏見を持たれ、悪口を言われ、第二次障害が発症し、不眠・拒食となり、妄想などの症状も出てきました。再起不能の状態です。家族・父母の心配を考えると、一刻も早く退院し、今度こそ、私の技量が発揮しやすい、私を理解してくれる職場に就職したいです。ご支援をよろしく願います。結局全ての差別は、無理解や偏見が持たらずものだと思います。理解し合える環境を多くつくって欲しいです。

ケースバイケースの養素が多いので、画一的に見ない方がよい。社会全体や企業・個人ごとに異なったことなので、その状況に応じた対処・方法がある。社会全体がいかなる風徴になっても受容し合える環境をとどまらなく作り・発展していく努力は続けねばならない。

全ての人に優しい社会であって欲しいと願っています。生き憎い世の中になってますから...

各個人の問題の為、長い時間をかけて直して行かなければ、すぐできる問題ではないと思います。家族の協力を得る為には家族構成が少ない家庭では難しい事でしょうね。

再就職は難しい。公的機関がフォローしてゆく道はないでしょうか。退職後の人間が無責任に記した反省もあります。お許し下さい。

相手の立場、自分の立場互いに理解することを自然に出来る様にすること。職の上下ではなく区別を理解し、相手と自分の立場をよく理解すること。

現在80才となれば男女、職場活動の関係は薄い。まず自分健康と少しのお金と子供や孫と暮らしたい。年一二次食事を皆で一生に行きたい。

ブラック会社を無くしてほしい。

高齢者家族です今の状況が、わかりかねます。

私は農家に嫁し、この年令になる迄朝から夕迄雑草、お茶、養蚕、米麦と体を使ってやって来て、今考えると60才代から、現代的な年に自分から進んで飛び込んで勉強させて頂きました。今難しい言葉等を本当に情けないです。ですから今の若い人達にいろいろな事を身に付けて頑張ってもらいたいと思います。又今夜、生れ変わる者なら、いろいろな社会勉強に励みたく、何でも頭に入れて世の中を渡りたいです。おろかな考え方ですが、昭和五年生れの私にはこれだけのお答えお許し下さい。

セクハラですが書きます。子どもを産む前のある企業で働いていたとき、私は既婚でしたがまだ24才という若さでした。ある日、会社で社員の女性をモデルにしてパンフレットをつくるということになり、ある女性が「候補」にあがりました。私の名前もあつたようですが、私の部署の課長が私は既婚なので「新品」ではない。新商品をつながずパンフレットだったため、未婚の彼女を選んだほうがいいと言ってきた。別に選ばれたとは思ってないが、わざわざ私に言うのも失礼ですし、既婚者は中古品というような考えはセクハラです。

70才以上ですので、職場や政治の事等わからないので申し分けございません。

以前、鈴木知事自身育児休業を取られたとの報道に接しましたが、その時の反応はいかがでしたでしょうか？確か議会の開催もからんでいたように思いましたが、私の認識不足でしょうか。でもやはり、リーダー自らが見本を示した事に関しては共感出来ます。頑張ってください。

老人施設で働いていた為か両方共見聞きした事はなかった。充分な賃金と身分の保障があれば、周囲へのかかわりも違うと思う。生活の豊かさは、心の豊かさに通じることと思う。

何事にも保守的な考え方があり意識の変革が不可欠と思われる。

私の場合、十月十日まで仕事、男の中で仕事、やる気があれば相手も男同様にみしてくれ、男女の差を感じた事はない。でも一つした事は、服を工夫し、おなかが大きい部分を隠し、普通に仕事する事につとめた。あまり“妊娠”を意識しない、相手にさせない。生れて三カ月後、保育所に入れました。

経費削減のために人件費を削る時代だからなのだが、働いている人みんなに他人を思いやる余裕がなくキツキツで働いているように思う。1人や2人が休んでも他の人の負担が極端に増えないような人数で働くことができればいいのではないかと思います。

男性中心の職場で有った為、良くわからない。

子どもが三重県内の中学校で勤務しているが、部活動の朝練、土日のクラブ指導で連日帰宅も遅い。月に1日の休日もなく働いている状況を見て、身心の健康がもつのかと心配になる。年休も中々とれない。本人は結婚したら...と心配している。安倍首相でもたまにはゴルフやらで気分転換しているのをTVで見るのに。教職員は男女平等な現場だと思いが、又このことは男女共同参画に関する意見でもないが、鈴木知事にお伝えしておきます。戦中戦後の中に生れ育った者には余りも考えのへただたりが有り新しい用語について行けないのです。カタカナ語を日本語に（ ）を付け説明が必要かと思います。

私の20才時代マタニティハラスメントあったのが分りませんが、耳にした覚えがありません。現在の女性でもしっかりと考えた人と男女平等をしっかりと考えていない人がはっきりとわかれていると思う。

職場は年配者が多く、該当する人がいないのでよく判らない。

すべてにおいて、社会全体に余裕が無いのと経済的な余裕が無くては、男女共々協力出来る余裕は起きないと思う。

その他
今の小中高学費免除はおかしい？自分の子は自分達親がきちんと育てよう！！今迄の人は苦しくてもそうしてきました。それが当たり前！！
妊婦だから優先みたいな態度が出る人は嫌だ。なるべく協力しようと思うのがなくなる。業務中に業務をせす、いすに座っているだけと感じる時が多い。
あまりいてないのでよくわかりません。でも、みんなで気を付けた方が良いと思います。
成果主義が増長し、職場内でやり合う優しさが無くなっているように感じます。真に日本の景気が好転すれば給料も増え労働条件も良くなり人間らしさが取り戻せると信じております。保育・介護施設の充実や日本人の良さを失うことがないようより良い経済を含む諸政策の策定を期待します！
男性優位の社会、格差社会、ブラック企業がある社会等おかしいと思う。残業時間が長すぎる。その分正社員を増し、時間内はしっかり働く事。(過労死なってもってのほか)社員に精神的に余裕を持たせる。
始めて聞く言葉で、何もわからない。
私は戦前、戦中戦後を通して来た人間ですが時々外国で生活する事があり日本も益々発展する事を願います。
今後、人口減少がますます進む時マタ、パタを大事にした世造りが、特に必要だと思う。そうすれば出産も増加するのではと思います。
安心して出産の日を迎えてほしいです。
満ち足りている人は他者へも寛容になれる。従っていやがらせもしない。自分がしんどいから他者を思いやる余裕がないのだと思う。男女を問わず、立場を問わずみんなが豊かな気持ちを持てるような制度や労働環境の整備が不可欠。みんなで幸せになりたい。
高齢のためうまく返答できません。
子供達が少なくなると地域に活気がなくなって未来が心配。
今の世は年月の経過と共に総べての事象が風化し去ろうとする中、戦争経験者として(昭和15年現役兵として満州へ入隊16年戦争と同時にそのまま、台湾をへてベトナム、シンガポール、インドネシアと敗戦後再度シンガポールにて捕虜二年間、昭和22年12月帰国)あまりにも烈しい天意に為す術を知らずと申しましょか、お笑い下さい。
75才の年寄には項目が多すぎ、わかりにくい内容がたくさんありとてもなんぎなアンケートでした。
何事にも周囲の協理解が必要だと思いますが、まず自分自身を見直す事が大切だと思います(これは自分自身の事です)
男女共70才を過ぎたが、働いても税金などはあまり高く取らなければ元気いんな所で活躍すると思います。産前産後の休みを長く取れる制度を作れ良いかも、まわりの人達の思いやりだと思います
ブラック会社に対する対応が必要と思う。
みなさんでフォローしていくこと。
男、女ともに社会の仕組みを変えて行くことと思う。
78才と高齢ですので家で草とりぐらいしか出来ません。会社とか何もわかりません。折角ですが申し分けありません。貧乏老後を送っています。
若い人たちが男女問わず、もっと政治や地域のことに興味をもって活動できればいいと思います。自分も地域のことをもっと知らなければと思います。
思いがけず三重県で生活する事に成りました。色々とかけて三重を楽しんでいます。他県より過ごしやすさを感じております。同姓の知事さんにも親しみを感じている所です。よろしく。
一般的に権利の主張が強く、義務に対して甘いと思う。人それぞれ色々な意見はあると思うが、その立場になったらまずその立場をまっとうするのが当然。
私が勤めていたのはもう10年以上も前で、マタハラとかパタハラとかいう言葉さえなかった。ですが、セクハラ的な出来事は多くありました。女性は働く場合それに対抗する気力があるか、そのまま流されてゆくかでした。どうしても働かねばならない人は、時々で応じていたと思います。今の職場がどんな具合なのか全くわかりませんので、私を感じていた昔を思い出しながらアンケートにお答え致しました。御了承下さい。
今、この時代少子化ですが、やっと授けた赤ちゃん、ご夫婦を暖かい目で見守ってあげるといふ余裕が無いのでしょうか？職場でも仕事がまわってくる事への負担増からの嫌みでしょうか。仕事を分担する事も会社として普通に(当然の様に)行なうという形が出来たらと思います。
給与が減る。昇進が遅れる。
独身や子供のいない人の考え方の違いや理解不足は仕方ないとしても、休暇の取得できないプチブラック企業は多数ある。何の為の労働時間を決めた協定が全く理解できない会社の風土はどうしようもないので、有給休暇が取得できないなら買い上げる等対応すべきであると思う。
以前から気に留めていたのですが、中学の時から家にこもり、今37才。大学卒業後、就職活動はしたけど気に入った会社がないと家にこもり、今26才。高卒後、4~5年働き同僚からの一言で仕事をやめ、早3~4年27才と、まわりに家にいる男性がたくさんいます。これから親が亡くなった時この人たちは、どの様に生きていくのでしょうか。地域にとけこむためのきっかけ、人とコミュニケーションの取り方など、考えていただけないでしょうか。
共働き家庭が多く、社会全体が心にゆとりがなく皆生活苦に追われている。色々な事件など起きているが、何か違う方向に向かって行っている。
女性ならではの、男性ならではの能力の違いは絶対あります。特別な人をのぞいては、人はすべて平等に生きる権利があります。現代は核があり、原発があります。何が起るかかわからない時代です。道ばたでいるんな動物が車にはねられ死んでいます。私たち人間もこれからなぜ？と思う不幸がいっぱいあると思います。核や原発 戦争、テロ、わかってるのは人間です。人間を育ててください。教育の中で良いです。人間を育ててください。
自分はそのような経験をしたことがない為何も言えないけど、男女共同参画をもう少し考えてはいかがでしょうか？
働きたい人が働ける、働けない人は働かなくてよいなど、さまざまなニーズに対応できる社会であってほしいと思います。
まだまだ理解不足だと思うので、職場で話し合いをするべきだと思います。
この年になるとわからない事が多いです。

その他

私は、南伊勢町立保育士として勤め終え既に定年を終えた者です。これからの社会は女性も男性も働く、職業を持つことは大事で、社会参加により自己実現が図れ生き甲斐につながると思います。地域（風土）的には、まだまだ男性の立場が、重きを占めている風潮が、ありますが、それでも社会全体では前向きに進歩してきていると思います。男性も女性も平等、住みやすい社会、明るい社会になってほしいです。自分自身働くことによって学習し人間として女性として大きく成長させていただきました。

女1人の世帯ということで、男性だけでなく、女性も軽視して舐めて来る。男性中心の社会は変わらない。男女共同参画以前の問題で、男も女もレベルの低い人が多い。

過疎化になり地域で暮らす若い人は、仕事に行事に役員と頑張っています。小学生も減少しています。一人暮らしの老人も淋しい思いをしている様です。結婚したら家を出なくて同居で来るような生活環境を考えていってほしいです。子供達も優しく、思いやりのある老人を大切に育つ人間に育っています。地域から出なくても良い方法を家族で話し合い又、働く場を作ってもらい、学校の教室の空いている所で保育はできないのですか、地域を活性化して若者をどんどん戻って来てもらえる事を願います。

都合よく弱者のフリをして、権利の主張をする人がいるからだと思う。特に普段から仕事が出来ず、周囲に迷惑をかけた、自己中心的な人だったら余計。仕事が出来、責任感がある人なら周囲の対応は違うし、賢い人は同じ会社に執着しない。男性の育休は休みを取っても、家事の手伝いや子育てをしていない場合もある。余計働かなくなる可能性もあるので、これ以上しない方がいいと思う。男女は質の違いがあるので平等とか共同の考え方にムリがある。優先順位は家庭それぞれなので、役割分担もそれぞれ。このアンケートも無記名としておきながら、催促のハガキが来たので遠回しな強制に感じた。それと同じでムリに人を動かそうとしてる企画だと思う。急に送られて来たのでサギだと思いました。このような内容を考える前にもっと必要な事がいっぱいあると思います。関東出身者にとって三重県はとてもレベルがひどいです。交通マナーがとくに。ウインカーを使わない、ハザード出さないが日常ですけど、周囲に気をつかえない自己中な人が多いのでこのアンケートも意味ないと思います。何かを変えるにはリスクもあるので、承知の上ですべきです。産休や育休は会社へ負担が行き、会社は社員に負担させます。なので、穴うめの人を用意するのか、お金を出すのか、または、妊婦さんだけ入れる会社を作ったらどうですか？もしくは役所でポストを用意するとか。親切を強制するのが一番ダメ

労働組合の組織がある所（会社）は規約があるから良いが中、小企業等組合のない会社は特に労働条件、キチンと見る必要はある。労働者と会社側とのとり交す内容条件、規約契約はどうなっているか調査必要と思う。

本人のコミュニケーション不足、他の人の配慮不足の1言につきと思う。気配が必要です。

私達が働いていた時代にくらべ、社会の流れも大きく変化し良くなってきた面も多々ありますが、まだまだ...の感もあらゆる面で感じます。これからの人達が、暮らしやすい世の中になるよう希望します。

わからない。

日本の伝統的な夫婦観、家族観もあり、短い期間で変わることは難しいです。時間をかけた取組みが必要。

正社員の場合、少しでも相談して貰えるかも。非社員は何年で終り何もかわらない。会社が2回/年の教育されているかわかるとおもいます。

子どもが大きくなったら自分も働いていかないと、自分が年がきて年金がもらえないとつまらないので、60才までは働いてきました。少ない年金だけど今は少ないなりに助かっています。